広報
SHOBARA the public information magazine

しょうばら

8
2025/August
No.245

美しく輝く　里山共生都市

流れに磨かれ、ここに輝く夏の味

「第 25 回 清流めぐり利き鮎会」で日本一に輝いた西城川の鮎。清流の恵みが、本年も味わい深く育っています。
涼風が吹き抜ける川面には、その鮎を求めて訪れた多くの釣り人たちの姿がありました。
（関連記事：18 ページ）

庄原が好き

このコーナーでは、人と人とのつながりや暮らしのストーリーを、シリーズで紹介します。
今回は、尾道市から川北町に移住した加納（かのう）さん一家にお話を聞きました。

自治定住課自治定住係 ☎0824-73-1209

川北町の生活を楽しんでいる
加納さん一家

移住のきっかけ

私たちはもともと山陰地方の出身で、川北町に移住する前は尾道市で生活をしていました。

子どもが生まれることをきっかけに、地元の山陰に近く、自然が豊かで落ち着いた環境の中で生活がしたいと思い、県北で移住先を探していました。

さまざまな地域の情報を調べていく中で、しょうばら空き家バンクを見て、気になる物件を見つけたことで、川北町へ移住することを決めました。

川北町での暮らし

川北町では近所の川でホタルを見ることができるなど、これまで以上に自然を身近に感じています。

また、移住してから、家の畑で野菜を育てるようになりました。今まで野菜を作った経験はなく、日々勉強しながら頑張っています。

困ったときは地域の人が作り方やこつなどを、優しくアドバイスしてくれるので、とても助かっています。

川北町に移住して数年が経ちますが、市街地まで近く、買い物もすぐにできるので、不便さを感じることもなく、楽しく日々の生活を送ることができています。

今後の生活

これからも野菜を作ったり、地域の人たちと交流したりしながら、自然が豊かな庄原市ならではの生活を、家族みんなで楽しんでいきたいと思います。

改めて、良い地域に移住することができたと思っています。これからも川北町だけでなく、市内のいろいろな場所で、素敵な思い出を作っていきたいです。

こうすりゃ〜ええ農（のう） vol.92

Agricultural news

このコーナーは、
営農指導員から、農業のちょっとしたコツを、お知らせします。

農業振興課農業振興係☎0824-73-1131

野菜作りのワンポイントアドバイス

営農指導員　若山（わかやま）　譲（ゆずる）

野菜の高温障害

高温障害とは、気温が一定の温度を超えることで、農作物が正常に成長できなくなる状態を指します。

特に、梅雨明けしてから10日程度経過したころに、35℃以上の気温が続くと、作物の光合成能力が低下し、栄養供給が滞るなど、深刻な成長障害を引き起こします。

1　高温障害の症状

夏の日差しが強い時期に①葉の表面が褐色になっている②果実の表面が茶色く、硬くなっている③株がしおれているーなどの症状が現れたときは、高温障害を疑いましょう。

野菜の高温障害によって引き起こされる症状には、次のようなものがあります。

■果菜類
（トマト、ナス、キュウリなど）
- 着果不良や花が落ちやすくなる
- 果実の奇形や退色、軟化
- 糖度低下、不足、味が落ちる

■葉菜類
（キャベツ、ブロッコリー、ホウレンソウなど）
- 生育不良やしおれ、葉焼け
- 結球異常（キャベツなどが球状にならないこと）や小球化、内部の腐敗
- 茎内部の空洞化

■根菜類（サトイモ、ダイコンなど）
- 生育・肥大不良、品質低下
- 根の発育不良、形状の不揃い

2　高温障害予防のための対策

どの作物においても、土作りと栽培管理をしっかり行い、作物を良好な状態に維持するように努めることが基本です。

- 高温耐性を持つ品種の選択
- 遮光資材などの利用
- 土壌の乾燥・湿潤対策（地温上昇抑制資材の利用、水やりで土壌水分量を調整）
- 高温耐性をつけるための対策（肥料、堆肥などによる地力向上）

これらの対策を、地域の気象条件や作物の特性に合わせて適切に実施することで、高温障害による影響を最小限に抑えることができます。常に環境の変化に注意を払い、柔軟に対応することが重要です。

花作りのワンポイントアドバイス

営農指導員　永奥（ながおく）　啓（はじめ）

秋に植え付ける花の準備

1　秋植えの花

秋から初冬にかけて植える花の種類は限られますが、有利に販売ができる花も多くあります。

今の時期に畑の選択や花の種類をしっかりと検討して、方針が決まったら早めに種苗や資材の手配をしておきましょう。

①秋に種まきする花

シンテッポウユリ、ハナナ、ハナムギ、キンセンカ、ニゲラなど

シンテッポウユリ

②球根類の植え付け

ユリ類、アイリス、アリウム、スイセン、チューリップ、フリージアなど

③宿根草（しゅっこんそう）の植え付け

リンドウ、キキョウ（春に種まきした苗）、シャクヤク、ミヤコワスレなど

これらの花には露地（ろじ）栽培（ハウスなどの施設を使わないで栽培すること）が可能なものもありますが、ハウス栽培向きのものが多くあります。栽培品目の選択の幅を広げることができるハウス栽培も考えてみましょう。

※施設導入には市の補助金が活用できる場合があります。詳しくは問い合わせください。

2　畑の準備

今から早めに畑の準備をしておきましょう。

①畑の選択

ほとんどの花は、日当たり・排水が良い、肥沃（ひよく）な土壌を好みます。

②土づくり

堆肥をしっかり入れて深く耕しておきます。その時に苦土（くど）石灰も散布しておきましょう。

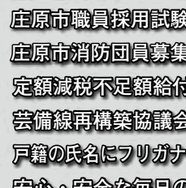
③畝（うね）つくり

排水性を良くするため、できるだけ高畝（たかうね）※にしましょう。

※高畝…地面よりも20〜30センチメートル以上盛り上げて作る畝のこと。

2　市民のページ
3　こうすりゃ〜ええ農
4　語り継ぐ平和への思い
8　庄原市職員採用試験《後期》
9　庄原市消防団員募集
10　定額減税不足額給付金
12　芸備線再構築協議会実証事業
13　戸籍の氏名にフリガナが記載されます
14　安心・安全な毎日のために
　／ほのぼのネット通信
15　健康広場
16　放課後ジャーニー in 庄原格致高校
18　福祉車両貸出事業
　／カメラレポート
20　市政トピックス
23　お知らせ
32　出張！市政トピックス

なごみま☆ショット



長谷川（はせがわ）　逢（あい）くん（板橋町）
R4年12月10日生まれ
父母より：いつも癒やしをありがとう♡
逢のペースで成長していこうね！

お子さんの写真を載せてみませんか？

3歳までのお子さんの写真を募集しています。写真（データも可）に、名前（ふりがな）・住所・生年月日・性別・連絡先・お子さんへのメッセージを添えて、行政管理課または各支所総務室まで申し込んでください。郵送、メール（koho@city.shobara.lg.jp）でも受け付けます。メールアドレス

終戦80年特集
語り継ぐ平和への思い
～残された家族の思い～

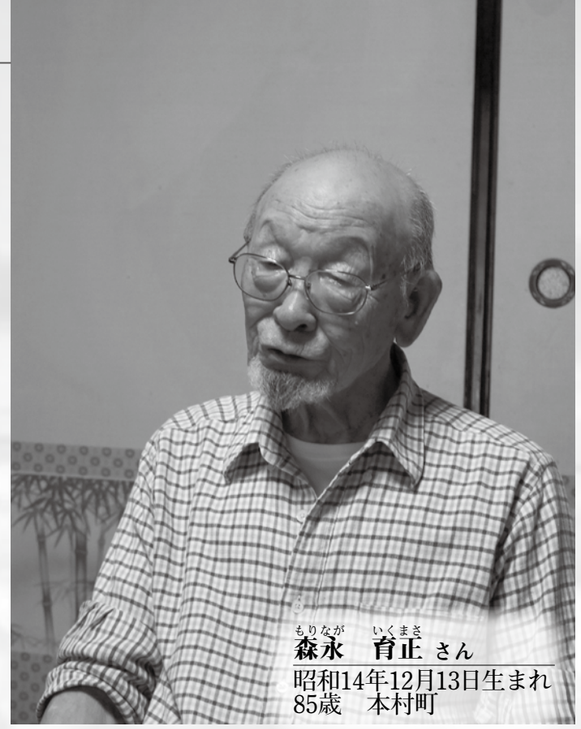
総務課総務法制係☎０８２４-７３-１１２３

多くの尊い命が失われ、多くの人が傷ついた、あの戦争が終わってから80年―長い年月が過ぎた今でも、その時に負った体や心の傷で苦しんでいる人がいます。そして、家族を亡くした人の悔しさ、悲しさも決して消えることはありません。

しかし、時の流れとともに、当時を知る人の高齢化が進んでいます。

その人たちの「思い」が薄らぐことは決してありませんが、私たちがその「思い」を聞き、引き継いでいくのは、今なのではないでしょうか。

今回は、先の戦争により、大切な家族を失った遺族の「思い」をお聞きしました。皆さんもこの「思い」を知り、命の尊さ・平和の大切さについて考えてみましょう。



森永 育正（もりなが いくまさ）さん
昭和14年12月13日生まれ
85歳　本村町

父の記憶

森永育正さんは、昭和14年に父・正（ただし）さん、母・ハヤ子（こ）さんの長男として生まれました。

家族は、4歳年上の姉との4人で、育正さんが4歳になるまで、呉市で生活していました。

正さんは海軍軍人で、育正さんが生まれた当時は江田島の海軍兵学校に所属していましたが、昭和15年、最期まで運命を共にすることとなる巡洋艦「神通（じんつう）」の乗組員となりました。

「神通」は、昭和16年11月に、寺島水道（長崎県）を出発し、東南アジアに向けて南下しました。「神通」がパラオに入港したころ、太平洋戦争が始まり、正さんも「神通」と共に、ミッドウェー海戦やガダルカナル島の戦いなどに参加したそうです。

これらの戦いに敗北して以降、戦局は日本にとって、次第に厳しくなっていきます。

そして、正さんが乗り組んだ「神通」は、最後の戦いに参加します。ソロモン諸島で行われた戦いの一つ、昭和18年7月12日に火ぶたが切られたコロンバンガラ島沖夜戦です。

「神通」は、相手方巡洋艦4隻と交戦。探照灯（たんしょうとう）を照射し、照準射撃を行うも、相手の集中砲火を浴び、船体を真っ二つに分断され、乗組員を乗せたまま海底約1千メートルに沈んでいったそうです。

これが、正さんの最期でした。育正さんはその時、わずか3歳でした。

育正さんは「父はほとんど家におったことはないんじゃないか。父に何かをしてもらったという記憶がない。顔も写真でしか知らない。父の膝の温もりを知らないで育った」と話します。

ハヤ子さんも、正さんのことを多くは語らなかったそうです。

▲正さんが乗り組んだ巡洋艦「神通」（森永さんより提供）

父なき生活

正さんを失い、ハヤ子さんは、育正さんが4歳の時に、2人の子を連れ、庄原の地へと帰ることにしたそうです。

一家は農業で生計を立てていましたが、ハヤ子さんは農作業の経験がなく、見よう見まねで作業をしており、大変な苦労をしていたそうです。

小学生になった育正さんも、田んぼに出て、牛に鋤（すき）や馬鍬（まぐわ）を引かせていたそうですが、最初は牛が言うことを聞いてくれず、情けない思いをしました。

父親を失ったことで、育正さんは学校生活でも悔しい思いをします。

「父親のおらん子はこんぐらいのことしかできん」「親無し子」と言われたり、先生の言うことを聞かず、悪さをしてしまった時にも、先生に「父親がおらんけーそれぐらいのことよ。爺（じい）やん（祖父）を呼んで来い！」と言われたりしたこともあるそうです。

育正さんは「おやじは戦争に行って死んだのに、なんでこんなことを言われんといけんのだろうと思った。家でおふくろに言ったら悲しむけー言われんかった」と当時を振り返ります。

父・正さん

父を捜しに

育正さんは、自分の年齢が父が戦死した時の年齢を超えたことを契機に、昭和51年2月から3月までの1カ月間、ソロモン諸島で実施された遺骨収集に参加しました。

島の港には、日本軍が残していった大砲が並び、トーチカ（敵からの攻撃を防ぐために設置された頑丈な小屋や構造物）の中の壁面には、たくさんの言葉が残っていました。

その多くが「万歳」ではなく、「お母さん…」など、家族へ向けた言葉ばかりであったそうです。

「本当はあるのだろうけど、『万歳』の書き残しは見つけられなかった。兵隊は見知らぬ地で命を懸けて戦っている。怖いだろうし、これが本当だなと思う」と育正さんは話します。

▲ガダルカナル島の戦没者慰霊碑

また、アメリカ兵の墓地は山一面に整備され、地元の住民が毎日掃除をしてきれいに管理されていたそうですが、日本兵については「ジャングルを歩いていたらつまずいたので、足元を見てみると、頭層にもなって遺体が出てきた」と、遺体は墓地に埋葬されておらず、ジャングルに放置されたままになっていたそうです。

遺骨収集を終え、帰宅した育正さんは「あれは墓場じゃのーて、捨て場じゃった」と涙を流していたと、育正さんの妻・真由美（まゆみ）さんは話します。

コロンバンガラ島から

正さんは、日本から遠く離れた、ソロモン諸島コロンバンガラ島沖の海底約1千メートルに眠っています。ハヤ子さんは、生前、遺骨が帰ってくることはありえないと思っていたようで、墓参りにいくと「お父さんは海の底におる。ここは空っぽ」とつぶやいていたそうです。

ハヤ子さんが亡くなり、三回忌を迎えるころ、奇跡が起こります。育正さんは、ソロモン諸島方面の戦没者帰還事業を行う団体へ、現地での正さんの慰霊を託しましたが、ハヤ子さんの三回忌の前日、その団体から、正さんの眠る地、コロンバンガラ島の砂と小石が、育正さんのもとへ届けられました。

育正さんは感無量。「おやじ、やっと帰ってきてくれたかー」と、受け取った手は震えていたそうです。

その一握りの砂と小石は、家族の写真と共に、ハヤ子さんの三回忌の日に森永家の墓に埋葬され、ハヤ子さんと一緒に眠っています。

▲共に埋葬された家族の写真

私たちができること

今回の取材の中で、育正さんは**「戦争というのはいけん。戦争は悲しみしか残らない。寂しい思いを随分してきた。争いごとはいけん。一家だんらんのほうがええ」**と、平和への**「思い」**を語ってくださいました。

戦争により生み出されるものがあるのでしょうか。あったにせよ、人の命と引き換えにして生み出されたものに、どれだけの価値があるのでしょうか。

戦後80年の節目にあたり、私たちは平和の尊さとその継続の重要性を改めて胸に刻む必要があります。

戦争は、無条件に人の命を奪い、傷つけ、憎しみ、悲しみを残します。平和は決して当たり前ではなく、守り育てるべき宝物なのではないでしょうか。

今回の取材で聞かせていただいた**「思い」**を平和への思いとして、未来へと伝えることで、次世代が平和な社会を築く礎となることを願います。

～愛と平和のメッセージ～

広島に原子爆弾が投下されてから80年。今もなお、核兵器をめぐる情勢は混迷を極め、「核兵器のない世界」の実現は、遠のいてすらいると感じられる危機的状況にあります。

核兵器廃絶につながる、出口の見えない暗いトンネルの中、闇を照らす一筋の光となるべく、自らシャッターを切り、切り取った瞬間に「愛と平和」のメッセージを乗せ、世界に向けて発信し続けている、本市出身の写真家・宮角孝雄（みやかくたかお）さんにお話を伺いました。

▲写真展で平和への思いを語る宮角さん（右）と妻の智子（ともこ）さん

写真家　宮角（みやかく）孝雄（たかお）

1948年（昭和23年）生まれ。
本市出身で被爆二世。東京を拠点として雑誌やコマーシャルフォトのカメラマンとして活動。
2000年（平成12年）からは原爆ドーム前で人々の肖像を撮ることをライフワークとし、作品を通して世界に愛と平和を訴える活動を続けている。

―この活動を始められたきっかけは？

私は被爆二世であり、家族は被爆者なんです。父と祖父は、家族を庄原に疎開させた後、自分たちも庄原へ疎開しようと広島駅で列車を待っていた時に被爆しました。父と祖父は命を取りとめましたが、父は屋根の下敷きになり、頬を五寸釘が貫通するほどの大けがを負いました。

もう一つは、私の父と教師だった祖父の確執があります。私の祖父は、父には弁護士のような職業についてほしいと考えていましたが、父は仕官して「お国」のために尽くしたいと考えていたそうです。

それに祖父が反対したことで「ずっとお国のために尽くすのが務めだと生徒に言っていたのに、なぜ自分にだけそんなことを言うんだ」と父は反発し、確執ができてしまいました。それは、祖父の名前の「みやかど」を、祖父とは違う「みやかく」と名乗ったほどです。

私は、いずれも、「戦争というものがなければ生じなかっただろう」と思っています。これらが、平和への思いを抱いたきっかけです。

撮影：宮角孝雄

―原爆ドームの前でカップルがキスをしている写真が印象的ですね

私は、平和への思い、特に原爆のことを写真で表現したいと思い、1999年12月31日から2000年1月1日の夕方まで徹夜をして原爆ドームの前で写真を撮っていました。そこへ、平和を求めて自転車で各国を巡り、平和を発信する団体・ピースライドが、1年半かけて40数カ国を巡り、最後、広島から平和を発信しようと、原爆ドームに到着していました。すると、そのメンバーの2人が、プロポーズの後、キスしました。その瞬間をたまたま撮ることができた、いまだに心がうれしくなる写真なんです。「愛と平和」を感じました。

―これらの作品のスタイルについて教えてください

私は、戦場の悲惨な写真のような、1回見ればもう分かったよ、という写真ではなく、日常に接した、誰もが掘り下げられる、心で本当の平和を考えていくような写真が撮れたらいいなと思っているんです。

それで、原爆ドームの前で、目を閉じて平和について考えてもらった瞬間や、キスの瞬間を撮るといった形で表現しています。

「本当に原爆ドームの前でキスの写真を撮っていいの？」と思う人がいるかもしれません。

確かに、ある種の危険性を孕（はら）んでおり、何かの拍子に叩かれたら写真家生命がなくなるかもと、いつも思いながらも、このスタイルを貫いています。

あいさつにキスをするという文化圏もあり「愛情表現」としての側面を強調し、伝えていきたいと思っています。

―あなたが考える「愛と平和」とは

それは、隣人を愛し、相手の気持ちになって自分も考え、尊重することだと思っています。相手を尊重していれば、相手の人が悲しんでいれば、その悲しみがわかるような、自分の心も掘り下げて物事を考えるようになると思います。

この相手を思いやる心があれば、問題が起きても、平和に物事を解決することができるようになり、争いも起きることはないと思います。

国と国がお互いに尊重しあえれば、戦争も決して起きることはないと思っています。

庄原市非核平和都市宣言

永遠の世界平和の実現は、人類共通の願いです。

しかし今もなお、世界では地域紛争やテロの頻発など、人間の生命の尊厳を踏みにじる行為が繰り返される中で、核の小型化や拡散が進み、世界の平和と人類の生存に深刻な脅威をもたらしています。

庄原市は、世界最初の被爆県の都市として、その惨状と被爆者の苦しみを思い、この地球上で再びヒロシマ・ナガサキの惨禍を繰り返してはならないことを強く全世界に訴えます。

私たち庄原市民は、生命の尊厳と平和の尊さを深く認識し、一刻も早い核兵器の廃絶と永遠の平和を希求し、ここに非核平和都市を宣言します。

平成17年7月1日、本市は、世界最初の被爆県に新しく生まれた都市として、核兵器のない平和で安全な世界を実現するため、議会議決を得て、非核平和都市宣言をしました。

この宣言発出は、核軍縮・核不拡散が国際社会の中で合意に至らず、大量破壊兵器の拡散が続き、世界平和と人類の生存に深刻な脅威がもたらされていたという、核をめぐる当時の国際情勢を背景としています。

この宣言から20年が経過した今もなお、全世界で1万2千発以上の核兵器が保有され、使用されかねない危険性すら高まっています。

二度とあの惨禍が繰り返されることがあってはなりません。本市は、市民の皆さんと共に、生命の尊厳と平和の尊さを深く認識し、世界に向けて「非核平和」を訴え続けていきます。

庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典

本市の戦没者に哀悼の意を表し、恒久平和を祈念するため「庄原市戦没者追悼式並びに平和祈念式典」を開催します。

多くの皆さんのご参列をお願いします。（申し込みは不要です）

とき　8月20日㈬　10時～（開場は9時～）

ところ
庄原市民会館　大ホール

その他
▼当日は要約筆記による案内があります。
▼職場や家庭などでも黙とうをお願いします。
▼8月12日㈫～18日㈪、市役所本庁舎1階市民ホールで折り鶴などを展示します。
▼8月21日㈭からは、口和支所、高野支所、比和自治振興センター、東城支所、ウイル西城、総領保健福祉センターの順で、折り鶴などを巡回展示します。

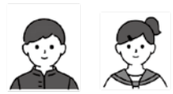
問い合わせ
社会福祉課社会福祉係
☎0824-73-1153
または各支所地域振興室

令和７年度庄原市職員採用試験
≪後期募集≫を実施します

総務課職員係☎0824-73-1122

後期募集から、多様な人材の確保を目指し、応募対象年齢の細分化や、社会人経験枠を新設しました。
私たちと一緒に、地域の未来を創りませんか？

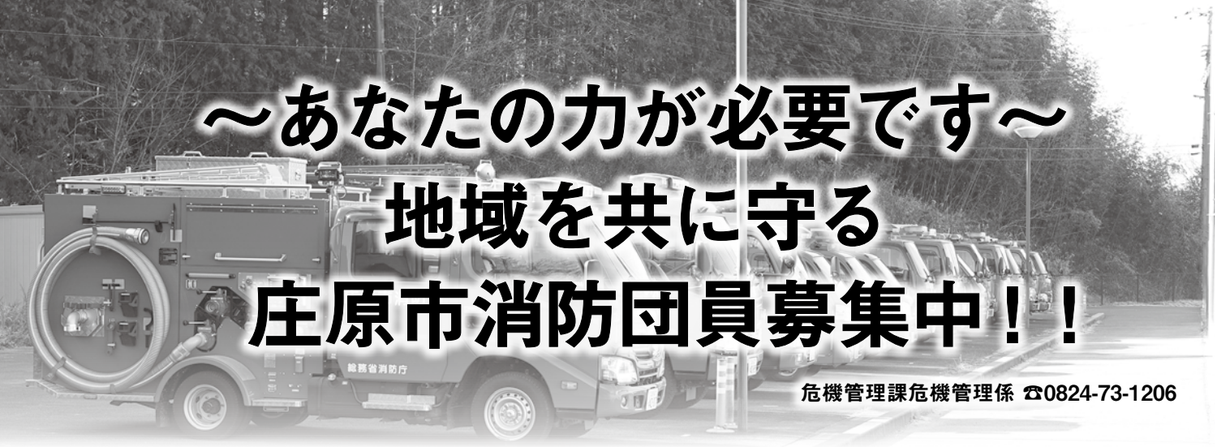
○区分・募集職種・応募資格

区分 ※1	募集職種	応募資格
ユース枠 	○一般事務職Ａ ●一般事務職Ｂ（障害のある人） ○技術職（土木） ●技術職（建築） ●社会福祉士（事務職） ●保健師 ●保育士 ○調理員 ●埋蔵文化財（事務職） ★上記「●」の職種については、右記の応募資格以外の資格要件があります。詳細は試験案内をご確認ください。	平成16年4月2日から平成20年4月1日までに生まれた人
フレッシャーズ枠		平成7年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた人
公務員経験者枠		①昭和55年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②国、都道府県、または市町村などの職員として、通算して5年以上の職務経験がある人　※2
社会人経験者枠（U・Iターン対応）	■以下の職種はユース枠の応募対象外 ・技術職（建築） ・社会福祉士（事務職） ・保健師 ・調理員 ・埋蔵文化財（事務職）	①昭和60年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②民間企業などにおいて、同一勤務先に5年以上勤務した経験がある人　※2
社会人経験者枠（デジタル人材）	○デジタル人材	①昭和50年4月2日から平成7年4月1日までに生まれた人 ②民間企業などにおいて、デジタル技術に関連した職務に、通算して5年以上従事した経験がある人 ■デジタル技術・・・ICT、IoT、AI、情報システム・ネットワークほか

※1 いずれの区分も勤務開始は令和８年４月１日から
※2 公務員経験者枠および社会人経験者枠の応募資格などの詳細は、試験案内をご確認ください

	第一次試験		第二次試験
会　　場	庄原会場	広島会場	個別面接試験（11月中旬実施）
募集期間	10月3日（金）まで		
試 験 日	10月19日（日）	10月26日（日）	
試験会場	庄原市ふれあいセンター	県立広島大学 広島キャンパス	

○試験案内などの詳細はこちらからご確認ください。



～あなたの力が必要です～
地域を共に守る
庄原市消防団員募集中！！

危機管理課危機管理係 ☎0824-73-1206

庄原市消防団の紹介

消防団員は、多くの人が本業を持ちながら、地域防災の担い手として、地域の消防力・防災力の向上のための活動を行っています。

庄原市消防団は、庄原・西城・東城・口和・高野・比和・総領の７地域で方面隊を組織して活動しており、消防団員の身分は非常勤特別職の地方公務員です。

入団資格

18歳以上で、市内に在住もしくは勤務している身体強健な人
※大学生や女性団員も募集しています！また、過去に消防団に在籍していた人の再入団も大歓迎です。

報酬・手当

消防団員への報酬・手当には、在籍していることで支払われる団員報酬と、火災現場への出動や訓練に参加した場合に支払われる出動手当があります。

また、消防団員として５年以上勤務した人には在職年数などに応じた退職報償金があります。

消防団の任務

≪平常時≫
●火災予防のための広報、啓発活動
●災害や火災などを想定した訓練
●消防資機材や水利の点検 など

≪火災・災害時≫
●消防署と連携した消火活動
●救助、救護活動や住民の避難誘導
●災害現場での広報および鎮火後の警戒活動
●他市町での大規模災害時における応援活動 など

消防団活動Q&A

Q 現在、何人の消防団員がいますか？

A 市内には７方面隊、25分団あり、令和７年６月１日現在で1,397人が在籍しています。そのうち女性団員は４人です。

Q 仕事などで忙しいときでも出動しないといけませんか？

A 必ずしも全ての活動に参加しなければならないということはありません。仕事などに支障がない範囲で参加いただければ大丈夫です。

Q 消火活動や救助活動ができるか不安なのですが大丈夫でしょうか？

A 訓練を通じて、資機材の使い方などを習得できるので大丈夫です。

Q 活動に必要な物品は自費での購入ですか？

A 活動服・手袋・編み上げ靴など、活動に必要な物品は貸与します。

詳しくは…

危機管理課（0824-73-1206）または
メール（kiki@city.shobara.lg.jp）、
西城支所地域振興室（TEL：0824-82-2121）
東城支所地域振興室（TEL：08477-2-5111）
口和支所地域振興室（TEL：0824-87-2111）
高野支所地域振興室（TEL：0824-86-2111）
比和支所地域振興室（TEL：0824-85-2111）
総領支所地域振興室（TEL：0824-88-2111）

定額減税しきれなかった人への給付金（不足額給付）

●定額減税補足給付金（不足額給付）とは・・・

令和6年度に実施した定額減税調整給付金は、速やかな実施のため令和5年中の所得を基にした推計所得税額を用いたため、令和6年中の所得および所得税額の確定により差額（不足額）が生じた人に追加で給付するものです。

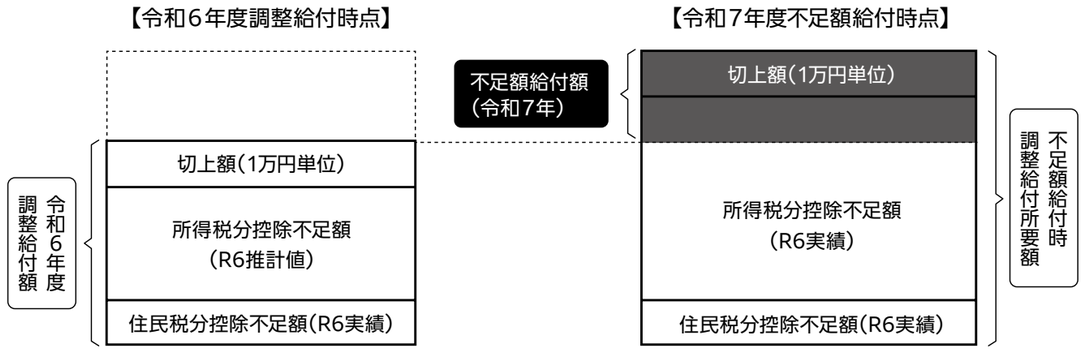
●給付の対象者と給付額

不足額給付は、不足額給付①と不足額給付②に区分されています。

不足額給付❶

対象になる人　本来の調整給付所要額を再計算した結果、令和6年度調整給付の額では不足が生じる人

給　付　額　所得税分の控除額等を再計算した結果、不足額が出た場合に、不足額を給付します。



不足額給付❷

対象になる人　本人および扶養親族などとして定額減税の対象外であり、かつ令和5・6年度の低所得世帯向け給付金の対象世帯の世帯主、世帯員にも該当しなかった場合に給付を行います。

次の1～3の全ての要件を満たす人が該当になります。

1．本人として、定額減税の対象外
　令和6年分所得税、令和6年度個人住民税所得割ともに0円

2．税制上の扶養親族でないため、定額減税の対象外
　青色事業専従者・事業専従者（白色）や、合計所得金額48万円超の人

3．低所得世帯向け給付の対象外
　令和5年度非課税世帯への給付（7万円）、令和5年度住民税均等割のみ課税世帯への給付（10万円）、令和6年度新たな非課税世帯もしくは均等割のみ課税となった世帯への給付（10万円）の対象となっていない人

給　付　額　4万円（令和6年1月1日時点で国外居住者であった場合は、3万円）

●給付の手続き

不足額給付❶

給付対象になる場合は確認書を発送します。
内容を確認の上、必要事項を記入し同封の返信用封筒で返送してください。返送後、1カ月程度で給付する予定です。
なお、確認書返送期限までに返送されない場合は、給付を受けることができません。

不足額給付❷

要件を満たす場合は申請書および添付書類（令和6年分源泉徴収票、青色申告決算書など）を社会福祉課へ提出してください。（添付書類などの詳細についてはホームページに掲載します。）
審査を行い給付対象であれば確認書を送付します。
内容を確認の上、必要事項を記入し同封の返信用封筒で返送してください。返送後、1カ月程度で給付する予定です。
なお、確認書返送期限までに返送されない場合は、給付を受けることができません。

●スケジュール

●確認書等送付時期　：　8月中旬から順次発送
●確 認 書 返 送 期 限　：　10月31日㈮
●給付金支給予定時期　：　確認書の返送後、1カ月程度

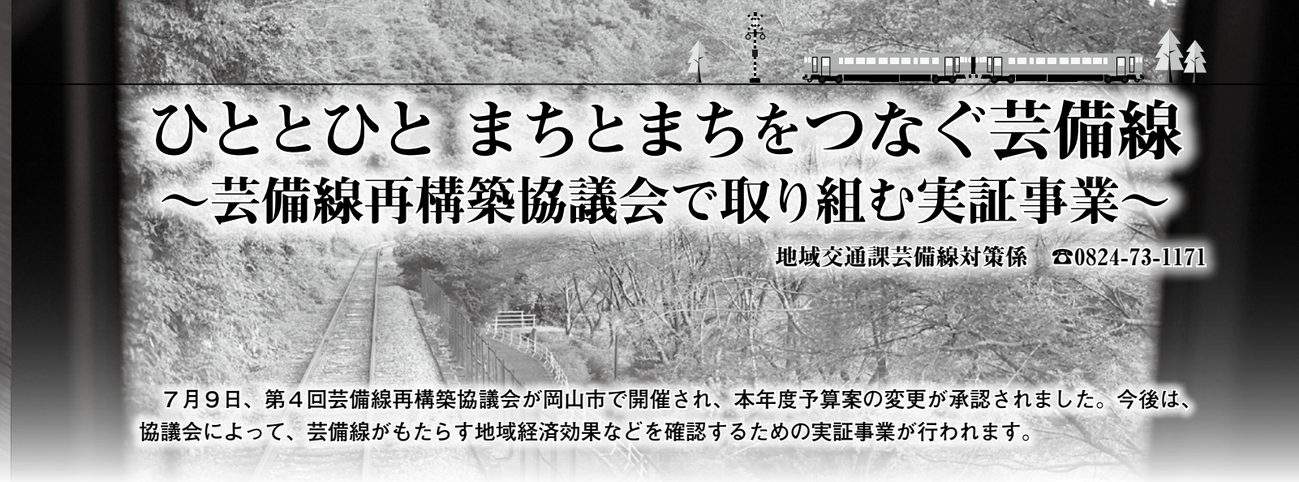
●問い合わせ

●給付（時期・添付書類など）に関すること
社会福祉課生活福祉係　☎0824-73-1140

●税や申告に関すること
税務課市民税係　☎0824-73-1146
※不足額給付に係る税情報などの内容については、本人確認が必要となるため、電話ではお答えできませんので、ご了承ください。

定額減税や給付金をかたった不審な電話やショートメッセージにご注意ください

不足額給付について国税庁（国税局、税務署を含みます）や都道府県・市区町村から、「不足額給付の関係で還付を受けられるので」と切り出し、個人情報（銀行の口座番号や暗証番号など）をメールや電話で聞くことはありません。
また、ATMを操作していただくような連絡をすることはありません。
心当たりのない電話があった場合は、絶対に銀行口座の情報などを伝えないでください。不審な電話やSNS、被害の相談については、警察相談専用電話（「＃9110」番）に電話していただくか、近くの警察本部または警察署にお問い合わせください。



ひととひと まちとまちをつなぐ芸備線
～芸備線再構築協議会で取り組む実証事業～

地域交通課芸備線対策係　☎0824-73-1171

７月９日、第４回芸備線再構築協議会が岡山市で開催され、本年度予算案の変更が承認されました。今後は、協議会によって、芸備線がもたらす地域経済効果などを確認するための実証事業が行われます。

具体的な実証事業の取り組み

①住民・来訪者利用に合わせた鉄道サービスの拡充・二次交通との連携強化

○平日・土休日における芸備線の増便・ダイヤ変更

- 毎日夕刻以降の増便またはダイヤ変更（９月以降予定）
- 土休日の増便（７月19日㈯～）

○二次交通との連携強化

- 芸備線のダイヤに合わせ、バスや乗合タクシーなどの二次交通の運行
- 芸備線と二次交通が相互に利用可能となる企画乗車券の設定

②列車による観光コンテンツの形成

○列車内外装のラッピングなど、列車自体の観光コンテンツ化
○地域食材を生かした商品を列車内などで提供
○駅舎周辺施設でのイベントの実施
○地域資源を生かした観光ツアー造成

③広域的な周遊コンテンツとの連携

○知名度が高いスマートフォンアプリなどと連携したイベントなどの実施

④広域拠点として駅舎の活用・産業拠点形成

○駅舎の空きスペースを活用したサテライトオフィスを希望する企業誘致

⑤芸備線や駅周辺施設を活用した移住体験の提供による定住促進

○駅周辺の空き家などを活用した移住体験プログラムの提供

臨時列車の運行

実証事業の取り組みとして、７月19日㈯から11月24日㈪までの土休日の日中に、臨時列車が運行します。
※詳しくはＪＲ西日本ホームページをご覧ください。

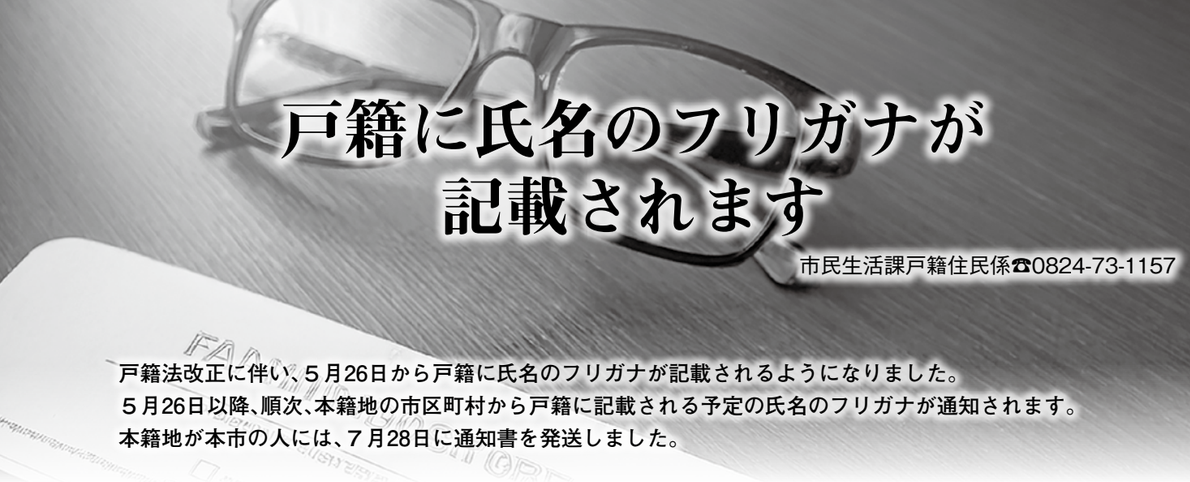
第４回芸備線再構築協議会での市の意見

- 芸備線利用への行動変容を促すためには、取り組みの周知から定着に一定の時間を要することや、観光利用における時期に応じた移動需要の変化を踏まえる必要がある。
- 中国運輸局には、列車の増便などを土台とした１年間の実証期間の確保をお願いしたい。ＪＲ西日本には、７月から開始される増便に引き続き本年12月以降の増便についても、協力をお願いしたい。
- 実証事業を通じてもたらされる地域への波及効果は、沿線地域全体の活性化の観点から、特定区間に留まらず、芸備線全体で享受できることが望ましい。
- そのためには、沿線自治体や地域の関係団体などが一体となった取り組みを行い、鉄道による広域移動が促され、人々の往来の活発化につなげていきたい。そのため、広島市・三次市・安芸高田市にも、増便をはじめとする実証事業への協力をお願いしたい。
- 本市においては、市民や来訪者などの利便性向上に向けた二次交通の整備をはじめ、地域資源を生かした誘客などに取り組んでいき、住民の行動変容や地域経済などへの波及効果の最大化が図られるよう、地域の関係団体などへ協力を求めていく。

協議会で発言する木村副市長

再構築協議会に関する対応などを市のホームページに掲載しています

詳しい内容や当日の資料は中国運輸局ホームページに掲載されています



戸籍に氏名のフリガナが記載されます

市民生活課戸籍住民係☎0824-73-1157

戸籍法改正に伴い、５月26日から戸籍に氏名のフリガナが記載されるようになりました。
５月26日以降、順次、本籍地の市区町村から戸籍に記載される予定の氏名のフリガナが通知されます。
本籍地が本市の人には、７月28日に通知書を発送しました。

通知が届いたら…（Q＆A）

戸籍制度マスコットキャラクター「コセキツネ」

Q 通知が届いたらどうすればいいの？

A 通知内容を確認のうえ、次のとおり対応してください。

○記載されたフリガナが正しいとき

届出は不要です。
令和８年５月26日以降、通知書に記載されたフリガナが自動的に戸籍に記載されます。
※フリガナが記載された戸籍証明書や住民票の写しを早期に取得する必要がある場合は、事前に届け出ることで、令和８年５月26日を待たずに記載が可能です。

○記載されたフリガナが正しくないとき

届出が必要です。

Q 誰が届け出ることができますか？

A 届出ができる人は「氏」と「名」で異なります。

○氏のフリガナ

戸籍の筆頭者が届出人となります。
※筆頭者が除籍されている場合は、配偶者が、配偶者も除籍されている場合は、同じ戸籍にいる子が届出人となります。

○名のフリガナ

戸籍に記載されている人がそれぞれ届出人となります。
※15歳未満の人については法定代理人が届出人となります。

Q 届出はどのようにすればいいの？

A 届出は次のいずれかの方法で行えます。

○オンライン申請（マイナポータル）

【申請に必要なもの】

- マイナンバーカード
- 利用者証明用電子証明書
- 署名用電子証明書

○届書持参（本籍地や所在地市区町村の窓口）または郵送（本籍地の市区町村）

本市の市役所窓口で手続きする場合、届書のほか、本人確認書類、本籍地市区町村から郵送された通知書を持参してください。
届書は窓口（本庁・各支所）で配布しているほか、市ホームページにも掲載しています。
なお、氏や名の読み方が、一般に認められている読み方でないと判断した場合は、その読み方が通用していることを証明する資料（パスポートや預金通帳など）の写しを求める場合があります。

Q 手続きに手数料は掛かるの？

A フリガナの届出の手続きに手数料は掛かりません。

Q 手続きをしなかったときのペナルティーはあるの？

A 手続きを行わなくても、罰則や罰金はありません。

制度や手続きに関する詳しい内容は、法務省ホームページをご覧ください。

市ホームページでも戸籍のフリガナ制度について掲載しています。

安心安全な毎日のために　庄原消防署からのお知らせ

庄原消防署☎0824-72-9911・東城消防署☎08477-2-4005

2025年度
全国統一防火標語
急ぐ日も 足止め火を止め 準備よし

身近に潜む電気火災

近年、皆さんの身近に存在するスマートフォンなどのさまざまな電化製品に使用されている「リチウムイオン電池」から出火する事案が全国的に増えています。

出火原因の一例

- 暖房器具に熱せられて発火
- 水没・落下した衝撃が原因で発火　など

予防対策

1 PSEマークが表示されている商品を使用する
2 膨張しているなど、少しでも異常があれば使用を中止
3 捨てる場合は説明書や、市のルールに従う

身近なところに、常に火災のリスクがあることを忘れず、適切に使用しましょう。

9月1日は「防災の日」

この日は、大正12年9月1日に発生した関東大震災を契機として制定されています。

近年では、大雨による土砂災害や地震による大規模な災害が発生し、尊い命や貴重な財産が失われています。

いつ発生するか分からない災害に対し「庄原市防災マップ」などを活用して避難場所や非常用持ち出し品などを備えておくことが大切です。

いつでもどこでも防火・防災教室

当消防組合では、要望があれば、いつでもどこでも防火・防災教室を実施します。

ぜひ、お気軽にお問い合わせください。

おわりに

傷病者の救命には正しい救命処置が必要です。

当消防組合では、いつでも救急教室、救命講習を受け付けています。

詳しくは、お近くの消防署、出張所までお問い合わせください。

ほのぼのネット通信　「ファミリーサポート」をご存じですか？

ほのぼのネット☎0824-73-1214

ファミリーサポートとは

育児の支援を受けたい人（依頼会員）と育児の支援を行いたい人（提供会員）が会員になり、安心して子育てをするために互いに関わり合う相互援助活動（有償ボランティア）です。

こんな時に活動します

- 保育施設などへの送迎、保育開始前や終了後の預かり
- 学校、保育施設が休業（土日や長期休暇など）しているときの預かり
- 宿泊を伴う子どもの預かり
- 子どもが医療機関を受診する時の他のきょうだいの預かりなど

対象となる子ども

0歳児～小学6年生

利用料金

- 平日（7時30分～20時）
  1時間　600円
- 土・日・祝日・年末年始（7時30分～20時）
  1時間　700円
- 宿泊（20時～翌7時30分）
  1泊　3千円

※半額を市が助成します。
※きょうだいが同じ時間帯に同じ提供会員の支援を受ける場合、2人目以降の利用料金は半額です。
※妊婦健診や子どもの医療機関受診時にきょうだいを預ける場合は、利用料の3分の2を市が助成します。

ファミリーサポート研修会を開催します

毎年、ファミリーサポート研修会を実施しています。

子どもの好きな人、空いている時間に支援活動をしたい人など、興味のある人はご連絡ください。

今後の開催予定は、市ホームページに掲載しています。

問い合わせ
児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-0051

体操会場マップができました！

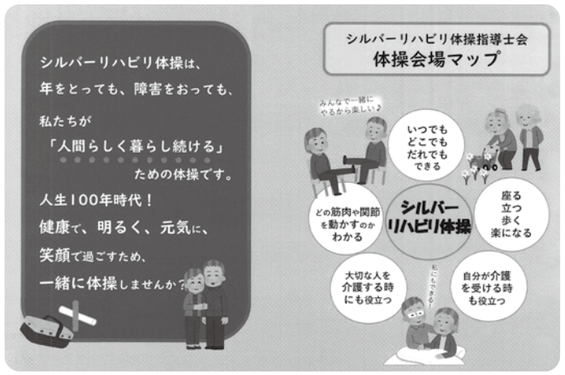
シルバーリハビリ体操、もっと身近に♪

健康づくりや仲間づくりの場として人気の「シルバーリハビリ体操」。

このたび、より多くの人に、より気軽に参加してもらえるよう、市内の体操会場をまとめた「体操会場マップ」が完成しました。

このマップは、各地域の指導士がどこで活動しているかを紹介しています。

“定例教室”は誰でも参加できます。会場名や開催日時など、参加に役立つ情報が分かりやすく掲載されています。自宅近くや通いやすい会場を簡単に探せるので、初めての方でも安心です。



マップは市役所や社会福祉協議会、自治振興センターなどに設置しているほか、スマートフォンからも閲覧できます。

ぜひ新しい「体操会場マップ」を活用して、お近くの会場で健康づくりを始めてみませんか？

シルバーリハビリ体操の魅力

シルバーリハビリ体操は、障害があっても、年をとっても、人間らしく生き、人間らしくあるための介護予防体操です。特別な道具や広い場所を必要とせず、誰でも気軽に始められる手軽さが大きな魅力です。

近年、自然災害が頻発する中で、避難所生活の長期化に伴う高齢者の健康維持が大きな課題となっています。

能登半島地震の際には、現地のシルバーリハビリ体操指導士が、避難所や仮設住宅で体操指導を行ったという報告があります。この取り組みは、エコノミークラス症候群や体力低下の予防だけでなく、体操教室の再開・継続を通じて精神的な安定や孤立の防止、コミュニティの再生にもつながり、被災地の方々に大きな力と希望をもたらしています。

※エコノミークラス症候群とは…長時間同じ姿勢でいることで足に血栓ができ、それが肺につまることで起こる病気

体操指導士になるには

指導士として活動をするためには、市が実施する指導士養成講習会を受講する必要があります。

積極的に指導士として活動（ボランティア）ができる60歳以上の人が対象です。

●講習会の日程
10月1日（水）～11月19日（水）の
毎週水曜日（全8回）10時～16時

●申し込み【締め切り：令和7年9月5日（金）】

申込用紙、募集要項は市のホームページおよび高齢者福祉課、各支所地域振興室、庄原市立西城市民病院、庄原市社会福祉協議会、各自治振興センターにあります。受講申込書は、高齢者福祉課または各支所地域振興室にご提出ください。

保健医療課健康推進係　☎0824-73-1255

この記事では、市内にある高等学校などにフォーカスして、特徴的な取り組みや部活動などを紹介します！

VOL.1

放課後ジャーニー IN 庄原格致高校

「私たち空き家片付け協力隊」
小田歩美（おだあゆみ）　稲毛千瑞（いなげちずい）　井上紗恵（いのうえさえ）

快挙！庄原格致高校写真部 全国大会ダブル出場

第1回目の「放課後ジャーニー」は、全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園）と全国高等学校総合文化祭（総文祭）へのダブル出場を成し遂げた「広島県立庄原格致高等学校写真部」にフォーカスします！

13年ぶりの写真甲子園

7月29日㈫～8月1日㈮、北海道上川郡東川町で開催される「第32回全国高等学校写真選手権大会（写真甲子園）」に、庄原格致高校としては13年ぶりとなる本戦大会出場が決定しました。

写真甲子園は、全国の高校写真部・サークルなどから、共同制作による作品（組み写真）を募集し、作品審査およびプレゼンテーション審査により、全国11ブロックから優秀校18校を選抜し、本戦大会開催地である東川町で、同一条件の下、高校写真部の**ナンバーワン**を目指す大会です。

本選出場までの軌跡

写真甲子園への出場を目指し、部内3つのグループに分かれ、それぞれのテーマで作り上げた作品を、顧問・部員の全員で評価し、代表1チーム・1作品を選出しました。

選ばれた作品のテーマは「空き家」で、地域で問題となっている少子高齢化・過疎化について、高校生目線で提起できるよう、作品を磨き上げる日々が始まりました。

そうした中、山内地域で空き家の利活用を進めるため、家財の片付けや家の掃除を手伝う「てごぉし隊」の活動を知り、メンバーの寺西玉実（てらにたまみ）さんに連絡。活動への密着を快諾いただき、昨年12月から本年4月まで、計5回の撮影を行いました。

撮影では、空き家の片付けなどを通して、人口減少や担い手不足など、地域の抱える問題を目の当たりにするとともに、その解決に向けて力を合わせてごぉし隊の姿を切り取りました。

こうして完成した作品「私たち空き家片付け協力隊」は、中国ブロックの選考を勝ち抜き、13年ぶりに同校写真部を写真甲子園に連れて行ってくれることになりました。

左から井上さん、稲毛さん、小田さん

大会出場に向けて

出場する2年生の小田さんは**「中国地方代表として全国大会に出られる貴重な機会。北海道でも、持っている力を発揮し、自分たちのベストを尽くしたい」**と決意を述べました。

目指せ日本一！「かがわ総文祭2025」

7月29日㈫～31日㈭、香川県高松市で開催される「かがわ総文祭2025」に、同校写真部から4人の出場が決定しました。

全国高等学校総合文化祭は、昭和52年から各都道府県が持ち回りで開催する、全国の高校生による国内最大規模の芸術文化活動の祭典で、同校写真部は25年連続の出場となります。

総合開会式やパレードに加え、19の規定部門と4つの協賛部門で発表などが行われます。参加校は約3千校で、都道府県代表の高校生約2万人が全国から集まり、県民を含め約10万人の観覧者が見込まれる大きなイベントです。

全国の写真を愛する高校生たちが、香川県に集い、交流会や講演会を通して、共に写真の奥深さについて学びます。そして、県内4カ所で行う撮影会では、全国の仲間たちと共に、カメラのファインダーを通して、香川の文化や歴史、風景を切り取ります。

写真展では各都道府県から推薦された優秀作品約300点が展示され、同校写真部からは4点が展示されます。

出場者紹介・コメント

4人全員が初めての全国大会出場となります。期待と緊張が入り混じる中、皆さんからコメントをいただきました。

左から竹下さん、守下さん、井上さん、稲毛さん

稲毛（いなげ）　千瑞（ちずい）（3年生）
「大会出場をチャンスと捉え、ここでしか撮れない写真で作品を作りたい」

井上（いのうえ）　紗恵（さえ）（3年生）
「他校の出場者との交流を楽しみ、これからの糧としたい」

守下（もりした）　珠璃（じゅり）（3年生）
「最初で最後の全国大会。悔いが残らないよう、今だからこその思い出を残したい」

竹下（たけした）　沙良（さら）（3年生）
「たくさんの人の期待に応えられるよう、良い大会にしたい」

写真部の紹介

庄原格致高校写真部は、現在、部員11人で活動しています。

「全国大会出場3人＆全員入賞」を目標に、月曜日の部会で作品のテーマやコンテストなどのスケジュールを確認し、残りの日はそれぞれの部員が写真を撮ったり、撮った写真をセレクトしたりしています。また、週末は市内だけでなく、県内のいろいろな場所へ撮影に行くこともあります。

ほとんどの部員が入部してから本格的に写真を始めるので、初心者でも上達していける環境が整っています。

興味のある人は、ぜひお問い合わせください！

写真部一同

問い合わせ

本記事に関すること　行政管理課広報統計係（☎0824-73-1159 / メール koho@city.shobara.lg.jp）
写真部に関すること　庄原格致高等学校　写真部顧問　本田（☎0824-72-2191）

庄原市福祉車両貸出事業
～要介護者と障害者に福祉車両を貸し出します～

高齢者福祉課高齢者福祉係☎0824-73-1143

市は、要介護者や障害者の社会参加の促進を図るため、要件に該当する人の家族などに福祉車両を貸し出します。

福祉車両の車種
スズキ　スペーシア（車椅子移動車）

車両配置場所・台数
本庁および東城・高野支所【各1台】

支援対象者
市内に住所があり、**車椅子を必要とする**次の①～③の条件**いずれか**に該当する人。
①65歳以上で、要介護認定が3～5の人
②身体障害者手帳（下肢・体幹・移動機能障害1～3級、じん臓機能障害1級）を持つ人
③傷病者など

運転者
支援対象者の家族および近隣者で、運転経験が1年以上の人

貸出日数
2日以内

利用回数
1カ月に2回まで（人工透析患者は週に1回まで）

利用者負担経費
燃料費、有料道路などの経費

損害賠償
利用者は、福祉車両の使用、保管により生じた全ての損害を賠償するものとします。

利用申請手続き
事前に電話で車両の空き状況を確認の上、借用日の1月前から3日前までに、高齢者福祉課または各支所地域振興室へ申請書類を提出してください。

申請に必要なもの
- 福祉車両利用申請書
- 運転者の自動車運転免許証の写し
- 支援対象者の介護保険被保険者証または身体障害者手帳の写し
- 福祉車両借受書兼誓約書

詳しくはこちら

日本一の鮎を求めて

No.1

鮎友釣りの解禁・6/14

６月14日、西城川漁業協同組合管内で、今シーズンの鮎の友釣りが解禁されました。

同漁協では、毎年４月ごろに稚鮎の放流や、水産資源の保全として河川の清掃活動などを行っています。

こうした取り組みにより、西城川の鮎は「第25回清流めぐり利き鮎会」でグランプリを獲得するなど、“日本一の鮎”として高く評価されています。

取材を行った７月中旬には、多くの釣り人が早朝から西城川を訪れ、清らかな流れに竿を出して鮎との駆け引きを楽しむ姿が見られました。

同漁協の津川明文組合長は「日本一に選ばれた鮎の味を楽しんでほしい。今後も鮎など、たくさんの魚がいる川づくりを進めていきたい」と話しました。

▲日本一にも選ばれた西城川の鮎

▲鮎釣りの奥深さを語る津川組合長

▲釣り人でにぎわう西城川

おいしく減塩に取り組もう

No.3

集団健診での減塩みそ汁試飲会・7/3～4

東城自治振興センターで集団健診の受診者を対象に、東城町健康づくり推進員連絡協議会が減塩みそ汁の試飲会を行い、２日間で86人が来場しました。

これは減塩の大切さを知ってもらうことを目的に、塩分量を抑えた「具だくさんみそ汁」と「市販のみそ汁」を飲み比べ、味の違いを知ってもらう取り組みです。

参加者は「野菜がたくさん入っているみそ汁は減塩を感じさせず、出汁がきいておいしい」と話しました。

当日は、野菜を１日350グラム摂取することを推奨するフードモデルやパネル展示も行われ、パネル展を見た人は「野菜を350グラムも取れてないのでもっと食べたい」と話しました。

▲減塩みそ汁と市販のみそ汁を飲み比べる受診者

火災の広がりを防ぐ

No.2

消火活動に対する感謝状贈呈式・7/10

西城支所で、庄原消防署の前田拓哉署長から、建物火災の消火活動協力者に対する感謝状の贈呈式が行われました。

これは、本年５月６日に西城町入江で発生した建物火災で、初期消火により火災被害を最小限にとどめ、速やかな鎮火に導いた藤田雄二郎さんと藤田三喜さんご夫妻の功績を称え、行われたものです。

感謝状を受け取った藤田さんは「当然のことをしただけ。改めて初期消火の大切さを実感した」と話し、前田署長は「思っていてもなかなかできることではない。消火栓の使い方も完璧だった」と話しました。

▲左から前田消防署長、感謝状を持つ藤田雄二郎さん、藤田三喜さん、日野原支所長

落ち着いて、声を掛け合って

No.5

けんこうざ　緊急時の応急処置・6/27

総領保健福祉センターで、毎月1回開催している「けんこうざ」において、緊急時の応急処置の講座があり、12人が参加しました。

当日は、講師の日本赤十字社広島県支部庄原地区の窪田先生が最初に人形を使っての心臓マッサージの実践を行いました。

その後、熱中症の症状による危険度の判断や対処法、予防法を学んだほか、傷の手当てをする際のガーゼや布の使い方、新聞など身近なものを添え木とする骨折時の対応法について学びました。

参加者は「過去に家族が倒れた時、気が動転してすぐ救急車を呼べなかった。緊急時に冷静に対応できるように、このような講座に何度も参加したい」と話しました。

▲新聞紙を添え木として代用する骨折時の対応を学ぶ参加者

比和まるごと家族

No.4

たなばたまつり・7/7

比和自治振興センターで、比和まるごと家族「たなばたまつり」が開催され、約180人が参加しました。

このイベントは、比和地域の住民が子どもから大人までつながりを持ち、支え合うための交流の場として、比和自治振興区、庄原市社会福祉協議会、庄原市が連携して実施しました。

当日は、比和保育所や比和小・中学校の子どもたちによる歌やダンスに加え、地域の大人による太極拳やギターの弾き語り、傘踊りなどが披露され、会場をにぎわせました。

比和自治振興区の若林隆志区長は「子どもたちの頑張っている姿を見て、会場に来た多くの人が元気をもらえた。良いたなばたまつりになった」と話しました。

▲比和中学校のダンスパフォーマンス

生涯学習課

全国での活躍を誓って

全国大会等出場者壮行式（夏季）

7月22日、市役所本庁舎1階市民ホールで、広島県代表として全国大会などへ出場する人を対象に、壮行式を開催しました。

このたびの壮行式は、個人や団体を合わせ、41人が対象となりました。

壮行式では、八谷恭介市長と桂藤和夫市議会議長が激励の挨拶を行い、牧原明人教育長から出場者一人一人に祝金と花束が贈呈されました。

また、出場者を代表して、第10回全日本中学女子軟式野球大会などに出場する山口湖音さんが力強い決意表明を述べ、大会での活躍を誓いました。

壮行式に参加した皆さん

■出場者（敬称略）

第49回全国高等学校総合文化祭かがわ総文祭2025
（7月29日～31日／香川県高松市）
写真
稲毛　千瑞（庄原格致高3年）
井上　紗恵（庄原格致高3年）
竹下　沙良（庄原格致高3年）

全国高等学校総合体育大会レスリング競技大会
（7月27日～30日／島根県雲南市）
男子個人対抗戦　65kg級
山本　千尋（三次高3年）

第25回全日本少年少女空手道選手権大会
（8月21日～24日／東京都足立区）
小学3年生男子　個人組手
矢吹　菜月（板橋小3年）
小学5年生女子　個人組手
祐宗　さち（板橋小5年）

第33回全国中学生空手道選手権大会
（8月15日～17日／長野県長野市）
女子個人組手
鈩谷　蘭（庄原中1年）
男子団体組手
石田　優馬（庄原中1年）
三上　佳輝（庄原中2年）
祐宗　吟治（庄原中2年）
鈩谷　琉生（庄原中3年）

全国高等学校総合体育大会女子バレーボール競技大会
（8月5日～9日／岡山県岡山市）
須田　芽依（庄原格致高3年）

日本スポーツマスターズ2025
（9月20日～22日／愛媛県松山市）
空手
加藤　貢一

第40回日本クラブユースサッカー選手権（U15）大会
（8月15日～25日／北海道札幌市ほか）
サッカー
石原　暖大（庄原中3年）
落合　桜史（東城中2年）

第79回国民スポーツ大会
（9月13日～14日／滋賀県甲賀市）
グラウンド・ゴルフ競技
市川　千枝・船頭　ムツコ
垣　智加子・小林　節子
堀川美代子・熊原　秀子

全日本少年少女武道錬成大会
（8月6日／東京都千代田区）
銃剣道形の部
宇恵　心春（小奴可小4年）
長谷　希琉（小奴可小4年）
木下　歩（小奴可小3年）
短剣道形の部
宇恵　心春（小奴可小4年）
銃剣道（団体・個人）
木下　健（小奴可小6年）
長谷　琉星（小奴可小6年）
宇恵　桔平（小奴可小6年）

バレーボール
迫　栞凪（銀河学院高3年）

第23回全日本女子軟式野球学生選手権大会
（8月9日～12日／東京都江戸川区ほか）
軟式野球
山口　湖音（庄原中1年）

第10回全日本中学女子軟式野球大会
（8月21日～27日／京都府京都市ほか）
軟式野球
山口　湖音（庄原中1年）

第63回全国高等学校ライフル射撃競技選手権大会
（7月28日～31日／安芸太田町）
女子ビームライフル立射競技
栗本　らら（西城紫水高1年）
男子ビームライフル立射競技
末廣　絢辰（西城紫水高3年）

第3回全日本高校生スポーツ射撃競技選手権大会
（7月28日～31日／安芸太田町）
ビームピストル立射競技
玉井　航平（西城紫水高3年）

第32回全国高等学校写真選手権大会「写真甲子園2025」
（7月29日～8月1日／北海道上川郡東川町）
写真
小田　歩美（庄原格致高2年）
伊ノ木佑衣（庄原格致高2年）

銃剣道（個人）
田邉　空宙（東城小6年）
田邉　宇海（東城中2年）

第37回全国高校生銃剣道大会
（8月7日／東京都千代田区）
個人・男子の部
細川　柊河（庄原実業高3年）

第60回全国高等専門学校体育大会陸上競技第60回日本高等専門学校陸上対校選手権大会
（8月29日～30日／大分県大分市）
男子やり投げ
杠　航太朗（弓削商船高専2年）

NPBガールズトーナメント2025全日本女子学童軟式野球大会
（8月14日～20日／岡山県倉敷市ほか）
軟式野球
垣内　美咲（比和小6年）

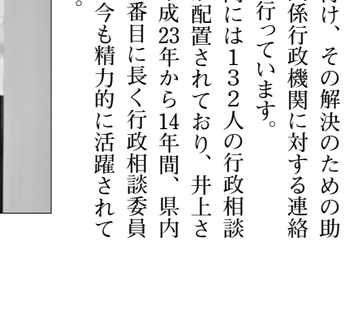
全国高等学校総合体育大会柔道競技大会
（8月13日～17日／岡山県岡山市）
女子団体・個人70キロ級
吉田　希空（広島皆実高3年）

全国高等学校ダンスドリル選手権大会2025
（8月11日～13日／東京都調布市）
HIPHOP男女混成部門・女子部門　Small編成
新本　聖來（創志学園高2年）

第13回全国高等学校ダンス部選手権
（8月29日／東京都江東区）
創作ダンス
新本　聖來（創志学園高2年）

JAPAN CUP 2025日本選手権大会
（8月28日～31日／東京都渋谷区）
アーバンチアダンス演技競技シニアの部
新本　聖來（創志学園高2年）

祝金と花束の贈呈



決意表明を述べる山口さん

総務課

人材確保への協力をお願い

自衛官募集相談員委嘱式

7月4日、市役所本庁舎で、自衛官募集相談員の委嘱式を行いました。

今回委嘱されたのは、林廣実さんと谷口武子さんで、委嘱式に出席した林さんは、八谷市長と自衛隊広島地方協力本部の宮地裕本部長連名の委嘱状を受け取りました。

委嘱された2人は、各地域で、自衛官募集のための広報活動や情報提供などを行います。

委嘱式で八谷市長は「自衛隊は、我が国の平和と安全を守る上で欠かせない存在。若い世代が自衛隊の役割や魅力を知り、志を持っていただくため、お力添えを賜りたい」と述べました。

左から八谷市長、林廣実さん、宮地裕本部長

市民生活課

長年の功績をたたえて

全国行政相談委員連合協議会会長表彰

表彰された井上清憲さん

5月27日、本市の行政相談委員である井上清憲さんが、行政相談活動に関し顕著な功績があった委員に対し表彰される、全国行政相談委員連合協議会会長表彰を受けました。

行政相談委員は、総務大臣から委嘱された民間のボランティアで、国民の身近な相談相手として、行政の仕組みや手続きに関する問い合わせなどの相談を受け付け、その解決のための助言や関係行政機関に対する連絡などを行っています。

県内には132人の行政相談委員が配置されており、井上さんは平成23年から14年間、県内では8番目に長く行政相談委員として今も精力的に活躍されています。

生涯学習課＆地域推進課

オリンピック金メダリストの指導

レベルアップ水泳教室

庄原市スポーツ大使×庄原ファンクラブ

庄原市スポーツ大使による水泳教室

6月29日、西城温水プール水夢で、レベルアップ水泳教室を開催し、市内小学生35人が参加しました。

当日は、リオデジャネイロオリンピック競泳女子200メートル平泳ぎ金メダリストで、庄原市スポーツ大使の金藤理絵（かなとうりえ）さんを講師に迎え、初級コースと中上級コースに分かれ、自分のレベルに合った指導を受けました。

金藤さんは「自分の夢が叶うように、今できることを精一杯頑張ることが大切」と話しました。

参加した児童は「今日の教室でいつもより長く泳ぐことができた」「教えてもらったことを生かして、水泳記録会に向けて頑張りたい」と話し、充実した時間を過ごしていました。

金藤さんから技術指導を受ける参加者

また、同日、同会場で、庄原ファンクラブ会員でもある金藤さんを講師に、ファンクラブ会員限定の水泳教室を開催しました。

庄原ファンクラブ会員と5歳～小学6年生の子ども計13人が参加し、初級コースと中級コースに分かれ、金藤さんに腕や足の動き、息継ぎのこつなどの指導を受けました。

水泳教室終了後は、金藤さんと参加者で交流会を行い、リオデジャネイロオリンピック決勝戦の動画を見ながら、当時の心境や現地の思い出などを聞きながら、楽しい時間を過ごしました。

参加者からは「泳ぎ方を教えてもらい、水泳がもっと楽しくなった」「金藤さんのようにオリンピックで金メダルを取れるように頑張りたい」と話しました。

庄原ファンクラブでは、今後も本市の魅力を発信しながら、会員の皆さんに楽しんでもらえるような企画を実施していきます。

▼庄原ファンクラブ
インスタグラム

▼庄原ファンクラブ
ホームページ

オリンピック決勝の思い出を話す金藤さん

ビート板を使ったクロールの指導

企画課

スマートフォンの使い方を学ぶ

やさしいスマートフォン教室

6月22日、新庄西集会所で、やさしいスマートフォン教室を開催し、新庄西長寿会の25人が参加しました。

これは、市の事業「出前トーク」のメニューの1つで、市職員がスマートフォンの操作方法を説明し、LINEでグループを作って、写真の共有や友達登録など、スマートフォンの便利な使い方について、習熟度別のグループに分かれて説明しました。

スマートフォンを持っていないグループでは、3Gと呼ばれる電波が来年3月に停止することで、使えなくなる携帯電話があることや、家族が持っているスマートフォンをうまく活用する方法を学びました。

参加者は「帰ったら早速、家族に写真を送りたい」と話しました。

職員からスマートフォンの使い方を教わる参加者

あなたの相談をお受けします

悩みごと、心配ごと、
困りごとなど、
お気軽にご相談を

各種相談	とき		ところ	備考	問い合わせ
人権相談	庄原	9月16日㈫13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	人権擁護委員	広島法務局三次支局 ☎0824-62-5070
	東城	9月4日㈭13時30分～15時30分	東城ふれあいセンター		
	口和	9月3日㈬13時30分～15時30分	口和保健福祉センター		
行政相談	庄原	9月18日㈭13時～15時	庄原市ふれあいセンター	行政相談委員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
	東城	9月18日㈭13時30分～15時30分	東城支所		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
	総領	9月10日㈬9時～11時	総領保健福祉センター		総領支所市民生活係 ☎0824-88-3063
法律相談	東城	8月29日㈮13時～16時	東城支所	広島弁護士会による無料相談。要予約。	広島弁護士会 ☎0120-969-214
	口和	9月12日㈮13時～16時	口和保健福祉センター		
生活安全相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係	生活安全相談員	市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1244
			東城支所市民生活係		東城支所市民生活係 ☎08477-2-5121
消費生活相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～12時、13時～16時		市民生活課市民生活係内 庄原市消費生活センター	消費生活相談員	庄原市消費生活センター ☎0824-73-1228 市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154
北部地域県民相談室	①	毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時15分～12時、13時～16時	広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1	相談員 （電話・来所）	北部地域県民相談室 ☎0824-62-5522
	②	9月11日㈭13時～14時30分 （30分×3枠）		弁護士 ※①の相談後、予約可	
家庭児童相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く） 9時～16時		児童福祉課あんしん支援係	家庭児童相談員	家庭児童相談専用 ☎0824-73-1243
妊娠・出産子育ての相談	毎週月～金（祝日・年末年始除く） 8時30分～17時15分		ほのぼのネット （市役所本庁舎2階）	助産師・保健師 保育士・社会福祉士	ほのぼのネット ☎0824-73-1214
認知症カフェ	庄原	「これから」 9月9日㈫13時～15時	庄原ショッピングセンタージョイフル2階	相談・情報交換 参加費なし	高齢者福祉課 地域包括支援センター係 ☎0824-73-1165
	西城	「コスモスカフェ」 9月4日㈭13時30分～15時	西城保健福祉センター （しあわせ館）	相談・情報交換 参加費100円	西城支所保健福祉係 ☎ 0824-82-2202
	東城	「おれんじカフェ・ええ塩梅（あんばい）」 8月26日㈫13時30分～14時30分	東城支所		東城支所保健福祉係 ☎08477-2-5131
	高野	「Men's Cafe（メンズ カフェ）」 9月11日㈭13時30分～14時30分	高野保健福祉センター		高野支所市民生活係 ☎0824-86-2115
		「ほっとカフェ」 9月19日㈮10時～12時	下高自治振興センター	相談・情報交換 参加費なし	
	比和	「あしたのカフェ」 9月16日㈫13時30分～15時	比和ふれあいセンター	相談・情報交換 参加費100円	比和支所市民生活係 ☎0824-85-3001
障害者相談員定期相談会	庄原	9月8日㈪13時30分～15時30分	庄原市ふれあいセンター	知的障害者相談員	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
療育手帳巡回判定会	庄原	9月11日㈭10時～16時	市役所本庁舎1階相談室	1カ月前までに要予約	社会福祉法人 広島県福祉事業団 ☎082-400-9010
身体障害者補装具判定会	肢体	9月16日㈫13時～13時45分	広島県三次庁舎第3庁舎1階 三次市十日市東4-6-1	1週間前までに要予約	社会福祉課障害者福祉係 ☎0824-73-1210
心の健康相談	9月16日㈫13時～14時30分		広島県北部保健所 三次市十日市東4-6-1	精神科医師による無料相談。事前予約が必要。	広島県北部保健所保健課 ☎0824-63-5185
	8月28日㈭14時～15時30分		東城支所		

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

子育て世代包括支援センター事業

●ほのぼのネット　☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	内容	備考
ほのぼの子育て講座	9月2日㈫ 10時～12時	庄原保健福祉センター	知っておきたい産後の骨盤底筋のこと	9月1日㈪12時までに事前申し込みが必要。

母子保健事業

●保健医療課母子保健係　☎0824-73-1214

事業名	とき	ところ	持ってくるもの	備考
母子健康手帳交付	9月1日(月)9時～17時	保健医療課母子保健係	▪出産予定日と受診した病院名が分かるもの ▪マイナンバーカード ▪印鑑、口座番号が分かるもの	事前予約が必要
	9月6日(土)10時～12時	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)		事前予約が必要(先着2組)
	8月25日(月)・9月8日(月)9時～12時	東城支所		事前予約が必要
育児相談	9月9日(火)10時～11時40分	庄原ひだまり広場(こども未来広場内)	母子健康手帳	事前予約が必要。支所での相談を希望する場合はお問い合わせください。

相談

全国一斉「子どもの人権相談」強化週間

広島法務局および広島県人権擁護委員連合会は、いじめや児童虐待、インターネットによるプライバシー侵害などの被害に遭っている子どもたちの問題解決を支援するため、「こどもの人権110番(電話相談)」と「LINEじんけん相談(チャット人権相談)」を常時開設しています。

さらに、8月26日から9月2日までを「全国一斉『子どもの人権相談』強化週間」として、相談の受付時間を延長しています。

実施期間
8月27日(水)～9月2日(火)
8時30分～19時
※土・日曜日は10時～17時
※強化週間以外は、平日8時30分～17時15分

相談先・問い合わせ
【子どもの人権110番】
☎0120-007-110
【LINEじんけん相談】
アカウント名:「法務局LINEじんけん相談」
検索ID:@linejinkensoudan

夏まつりのシーズンがやってきました。8月には市内各地で夏まつりが開催されます。
食べるもよし！踊るもよし！見物するもよし！
みんなで楽しんで、暑い夏を乗り切りましょう！

東城「遊夏祭」

■とき
8月10日(日)
17時40分～21時
■ところ
東城小学校グラウンド
■問い合わせ
東城「遊夏祭」実行委員会
☎0847-72-0525

ヒバゴン郷ふるさとどえりゃあ祭

■とき
8月13日(水)
10時～21時30分
■ところ
西城郵便局横会場ほか
■問い合わせ
ヒバゴン郷ふるさとどえりゃあ祭実行委員会
☎0824-82-2904

ふるさと盆踊り花火大会in比和

■とき
8月15日(金)
19時～21時30分
■ところ
比和小学校グラウンド
■問い合わせ
ふるさと盆踊り花火大会実行委員会
☎0824-85-2330

庄原よいとこ祭

■とき
8月23日(土)
■ところ　庄原市街地ほか
■問い合わせ
庄原よいとこ祭実行委員会
☎0824-73-9070

庄原夏まつり花火大会

■とき
8月24日(日)　19時30分から
■ところ　庄原上野公園
■問い合わせ
庄原まちなか観光会議
☎0824-73-0602

広告
［親切・丁寧をモットーに地域社会に貢献する会社を目指しています！］
賃貸アパート/売買戸建て/土地
庄原市のアパート探し、庄原市・三次市の戸建て・土地のことならお任せください。また不動産の売却相談・買取も承っておりますので、お気軽にお問い合わせください。
広島県知事(5)第9130　(社)全日本不動産協会会員　(社)不動産保証協会会員
有限会社カントリーランド
〒727-0012　広島県庄原市中本町1-4-9 庄原市役所前
TEL:0824・72・1497 FAX:0824・72・1435
ホームページ

広告
古くなったお家のリペアー・リフォーム
まずはお電話ください
太陽光発電パネル・蓄電池も取扱っております。
庄原テクニカルサービス［株式会社サンユウ 認定販売店］
〒727-0013 広島県庄原市西本町3丁目18-17
お問合せ 0824-73-9100

催し

令和7年度庄原市中学生意見発表大会

市内中学生代表が参加し、家庭、学校、地域など生活の中で日頃考えていることや、将来の夢などについて、意見発表を行います。自分の思いや考え、気持ちなどを堂々と発表する中学生の姿をぜひ見に来てください。

とき
8月22日(金)　10時～12時
(開場は9時30分から)

ところ
庄原市ふれあいセンター

問い合わせ
児童福祉課あんしん支援係
☎0824-73-0051
教育指導課指導係
☎0824-73-1184

NHK-FM「吹奏楽のひびき」公開収録

庄原市制施行20周年を記念して、NHK-FM「吹奏楽のひびき」公開収録を実施します。一流の演奏者による木管五重奏の名曲の数々をたっぷりとお届けします。

ご応募お待ちしています。

とき　9月27日(土)
15時～17時(開場14時15分)

ところ
庄原市民会館

出演予定
清水　怜(フルート)
榎　かぐや(オーボエ)
春田　傑(クラリネット)
皆神　陽太(ファゴット)
濵地　宗(ホルン)

観覧申し込み
入場は無料です。NHK広島放送局ホームページの専用申込フォームからお申し込みください。
https://nhk.jp/hiroshima
※申し込みは1人1件まで
※はがきでの申し込みは不可
※入場整理券1枚で2人まで入場可能
※未就学児は入場できません

申込期限
8月31日(日)　23時59分まで

問い合わせ
庄原市民会館
☎0824-72-4242
NHK広島放送局
☎082-504-5112

宝くじまちの音楽会 南こうせつミニ・ライブ・ファン～心のうたコンサート～

「神田川」をはじめ数々のヒット曲をもつ南こうせつと、中国古箏奏者ウー・ファンによるコンサートを開催します。

とき　12月6日(土)
17時から(開場16時15分)

ところ
庄原市民会館

入場料(全て指定席)
▼一般　2千円
(当日券は2500円)
※宝くじ助成による特別料金
※未就学児は入場できません
※前売券が完売の場合、当日券の販売はありません
※チケット販売は1人4枚まで
※友の会会員特典はなし

チケット販売所
【庄原】
庄原市民会館(窓口・インターネット・電話)、ジョイフル、東城自治振興センター
【三次】　サングリーン

チケット販売開始
9月10日(水)　9時から
※ジョイフル、サングリーンは9時30分から
※電話予約は13時から

問い合わせ
庄原市民会館
☎0824-72-4242

募集

人権標語

命の尊さや生きることのすばらしさ、平和の大切さを表現した標語作品を募集します。

応募方法
▼作品は未発表のものに限り、1人1点とします。
▼作品に住所または学校名・学年・氏名(ふりがな)を記入し、提出してください。
▼作品はフェルトペンなどで記入してください。
▼作品を直接持参する場合は生涯学習課または各支所教育室まで、郵送の場合は、生涯学習課宛てに送付してください。
▼応募作品の返却は原則として行いません。

入賞作品の発表
▼最優秀賞・優秀賞は市役所1階市民ホールおよび各支所などで展示します。
▼入賞者へは賞状と記念品を贈呈します。

募集締切
9月3日(水)必着

応募・問い合わせ
生涯学習課生涯学習係
☎0824-73-1188

広告
保育士(中途/新卒)募集中
当社は庄原市100%出資の会社です。あなたの「ちから」が庄原市には必要です。
詳しい求人内容は当社webサイトからご覧いただけます。→
お問い合わせ先
まごころと信頼の提供
庄原市総合サービス株式会社
〒727-0012　庄原市中本町二丁目13-24　Tel (0824)75-0600　http://shobara.co.jp

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

第21回庄原絵手紙大賞作品

市民ギャラリーアート多愛夢主催の庄原絵手紙大賞の作品を募集します。

募集作品　未発表の自作絵手紙（ハガキサイズ）※1人2点以内

題材　自由

応募資格　市民の人

応募方法　作品の裏面に住所、氏名（ふりがな）、電話番号、年齢（園児・児童・生徒は保育所・幼稚園・学校名、学年）を記入し、次の応募先に郵送または持参してください。

応募先（どちらでも可）
▪庄原市文化協会
〒727-0013
西本町二丁目17番15号（庄原市民会館内）
▪商工観光課商工振興係
〒727-8501
中本町一丁目10番1号

表彰　一般・子どもの部それぞれに、大賞・優秀賞・奨励賞を贈ります。

応募締切　9月12日㈮必着

問い合わせ　市民ギャラリーアート多愛夢運営協議会
☎0824-72-6405

広島県警察官採用試験および警察行政職員（高校卒業程度）採用試験

令和7年度第2回広島県警察官採用試験および警察行政職員（高校卒業程度）採用試験を行います。

警察官

申込受付期限　8月26日㈫　17時まで

受験資格　平成2年4月2日～平成20年4月1日に生まれた人

試験日・試験場所
▼第1次試験
とき　9月21日㈰
ところ　広島市、福山市

警察行政職員（高校卒業程度）

申込受付期限　9月9日㈫　17時まで

受験資格　平成16年4月2日～平成20年4月1日に生まれた人

試験日・試験場所
▼第1次試験
とき　9月21日㈰
ところ　広島市、福山市

警察行政職員（警察官・警察行政職員共通）

その他　受験案内は、申込期間中、広島県庁、広島県警察本部、広島県内の警察署、交番、駐在所などで配布しています。応募はインターネット「広島県職員採用試験ポータル」のマイページから行います。詳しくは受験案内や県警ホームページをご覧ください。

問い合わせ　庄原警察署警務課
☎0824-72-0110

「徳永ゆうきさんが選ぶ！芸備線カレンダー2027」フォト作品

庄原駅周辺地区まちづくり協議会では、「芸備線カレンダー2027」作成のため、カレンダーに載せる写真を募集します。

募集作品　芸備線の四季折々の景色
※芸備線に関する車両・線路・駅など市内で令和6年以降に撮影したもの
※車両または車両の一部を含むものに限る

応募資格　住所年齢問わず、誰でも応募可能（1人3点以内）

応募締切　令和8年4月15日㈬必着

その他　応募方法や応募条件などは庄原駅周辺地区まちづくり協議会ホームページをご覧ください。

問い合わせ　庄原駅周辺地区まちづくり協議会事務局（庄原商工会議所内）
☎0824-72-2121

その他

敬老会事業補助金

市は、高齢者の長寿を祝福し、地域福祉の増進を図るため、自治会などで行われる敬老会事業の主催団体に補助金を交付します。

対象者　敬老会事業を主催する団体

交付額　75歳以上の高齢者数（12月末現在）に1人当たり1220円を乗じた金額

申請期限　敬老会事業実施日の前日まで

問い合わせ　高齢者福祉課高齢者福祉係
☎0824-73-1143
各支所地域振興室

空き家・お家の建物解体
子や孫の代に負の資産を残さずに
お気軽にご相談ください
自宅・倉庫・空き家の残置分のお片付け
あなたの代で処分しませんか？
http://www.clean-miyoshi.jp
■おうちのお片付け部門　担当者直通／090-3630-5687
■建物解体部門　担当者直通／090-8245-4937
有限会社クリーンみよし　TEL 0824-64-0432
三次市畠敷町1827-4
clean.miyoshi@song.ocn.ne.jp
広告

令和７年度　自衛官など採用案内

～平和を、仕事にする。陸海空自衛官募集～

募集項目		応募資格	受付期間	試験日程
自衛官候補生	男子	18歳以上33歳未満 ※32歳の人は、採用予定月の末日現在、33歳に達していないこと	年間を通じて受け付け	受付時にお知らせします
	女子			
第2回一般曹候補生			9月2日㈫まで	1次：9月16日㈫～19日㈮　※1 2次：10月19日㈰～23日㈭　※1
防衛大学校学生一般		18歳以上21歳未満（自衛官は23歳未満） ※高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	10月16日㈭まで	1次：11月1日㈯ 2次：11月29日㈯～12月3日㈬　※1
防衛医科大学校医学科学生		18歳以上21歳未満 ※高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	10月8日㈬まで	1次：10月25日㈯ 2次：12月17日㈬～19日㈮　※1
防衛医科大学校看護学科学生			10月3日㈮まで	1次：10月18日㈯ 2次：12月6日㈯～7日㈰　※1
航空学生		海上：18歳以上23歳未満 航空：18歳以上24歳未満 ※いずれも高卒または高専3年次修了（いずれも見込み含む）	8月29日㈮まで	1次：9月20日㈯・27日㈯　※2 2次：10月16日㈭～23日㈭　※1 3次 海上：11月21日㈮～12月17日㈬　※1 航空：11月15日㈯～12月18日㈭　※3
第2回予備自衛官補一般		18歳以上52歳未満	9月11日㈭まで	【Web試験のみ】 9月16日㈫～19日㈮　※1 【身体検査および口述試験】 9月21日㈰・22日㈪　※1
第2回予備自衛官補技能（甲・乙）		18歳以上の国家免許資格等取得者　※資格により年齢上限は53歳未満～55歳未満		

※1　いずれか1日を指定。
※2　いずれか1日を希望。
※3　期間の内6日を指定。

詳しくは自衛隊広島地方協力本部ホームページをご覧になるか、三次地域事務所にお問い合わせください。

問い合わせ　自衛隊広島地方協力本部三次地域事務所　☎0824-62-0350

自衛隊広島地方協力本部ホームページ

各種手当の現況届を忘れずに！

各種手当を受けている人は、現況届の手続きが必要です。該当者には案内文書を送りますので、受付期間中に手続きを行ってください。

現況届が必要な手当
①特別児童扶養手当
②特別障害者手当
③障害児福祉手当
④経過的福祉手当
⑤児童扶養手当

①～④の手当
受付期間　8月12日㈫～9月11日㈭
受付窓口・問い合わせ　社会福祉課障害者福祉係
☎0824-73-1210
各支所地域振興室

⑤の手当
受付期間　8月29日㈮まで
受付窓口・問い合わせ　児童福祉課児童福祉係
☎0824-73-1192
各支所地域振興室

無線LANサービス終了

市では、平成18年度より市内の公共施設などに公衆無線LAN環境を提供していましたが、市内全域にブロードバンド環境の整備や、近年利用者数がごく少数であるため、9月30日㈫をもって当サービスを終了します。

なお、Hiroshima Free Wi-Fiはサービスを継続していますので、ご利用ください。

問い合わせ　企画課デジタル推進係
☎0824-73-1148

比和自然科学博物館マスコットがミュージアムキャラクターアワードに挑戦！

比和自然科学博物館のマスコットキャラクター「ヒワちゃん」が、ミュージアムキャラクターアワード2025にノミネートされました。

これに伴い、キャラクター投票が行われますので、左記の二次元バーコードまたはミュージアムキャラクターアワードのホームページから、投票をお願いします。

投票期間　9月4日㈭まで
※1日1票の投票ができます。

問い合わせ　比和教育室
☎0824-85-3005

HIWA

投票先はこちら

あっぱれ！庄原

全国レベルの大会出場者、全国・県レベルの大会、市が共催する各種大会などの上位入賞者を掲載します。（敬称略）
※学年は大会開催当時で紹介

中国大会

第72回中国高等学校柔道大会
（6月15日／島根県松江市）
女子70キロ級　優勝
吉田　希空（よしだ　のあ）
（皆実高3年・川手町）

県大会

第72回中国高等学校柔道大会広島県予選会
（4月27日／広島市中区）
女子70キロ級　優勝
女子団体　優勝
吉田　希空（よしだ　のあ）
（皆実高3年・川手町）

全日本ジュニア柔道体重別選手権大会広島県予選会
（5月25日／広島市中区）
女子70キロ級　優勝
吉田　希空（よしだ　のあ）
（皆実高3年・川手町）

第78回広島県高等学校総合体育大会柔道競技
（6月1日／広島市東区）
女子70キロ級　優勝
吉田　希空（よしだ　のあ）
（皆実高3年・川手町）

第35回広島県シニア総合スポーツ大会剣道競技
（5月18日／尾道市）
70代の部　第2位
高木　保（たかぎ　たもつ）（東城町）

その他

第30回庄原市小学校陸上競技記録会
（6月28日／上野総合公園陸上競技場）
【各種目学年別第1位】
男子100メートル
木野戸喜一（きのとき　いち）（総領小4年）
本田　健人（ほんだ　けんと）（東城小5年）
友國　絢史（ともくに　あやし）（東小6年）
男子800メートル
佐々木雄大（ささき　ゆうた）（東小4年）
竹内　十凛（たけうち　とおり）（東小5年）
柳生　翔馬（やぎゅう　しょうま）（西城小6年）
男子80メートルハードル
加藤　雄翔（かとう　ゆうと）（庄原小4年）
加藤　涼介（かとう　りょうすけ）（板橋小5年）
柳生　翔馬（やぎゅう　しょうま）（西城小6年）
男子走り幅跳び
二上　陽太（にかみ　ようた）（高小4年）
本田　健人（ほんだ　けんと）（東城小5年）
森川　義成（もりかわ　よしなり）（総領小6年）

女子100メートル
横地　美羽（よこじ　みわ）（高小4年）
鳴戸　美織（なると　みおり）（口和小5年）
平岡こむぎ（ひらおか　こむぎ）（山内小6年）
女子800メートル
栗栖　花歩（くりす　かほ）（西城小4年）
祐宗　さち（すけむね　さち）（板橋小5年）
山原　汐織（やまはら　しおり）（庄原小6年）
女子80メートルハードル
難波　結（なんば　ゆい）（庄原小4年）
田邊未彩希（たなべ　みさき）（庄原小5年）
角谷　綾音（すみたに　あやね）（山内小6年）
女子走り幅跳び
石田　弥麗（いしだ　みれい）（西城小4年）
田邊未彩希（たなべ　みさき）（庄原小5年）
齋藤結奈子（さいとう　ゆなこ）（小奴可小6年）
男子4×100メートルリレー（庄原小Aチーム）
澤井　湊太（さわい　そうた）（庄原小6年）
糸原祐之介（いとはら　ゆうのすけ）（庄原小6年）
森川　輝一（もりかわ　きいち）（庄原小6年）
水間　圭亮（みずま　けいすけ）（庄原小6年）
女子4×100メートルリレー（山内小チーム）
石原　心暖（いしはら　こはる）（山内小6年）
中谷　彩（なかたに　あや）（山内小6年）
角谷　綾音（すみたに　あやね）（山内小6年）
平岡こむぎ（ひらおか　こむぎ）（山内小6年）
混成4×100メートルリレー（総領小チーム）
栄　陽奈多（さかえ　ようなた）（総領小6年）
森川　義成（もりかわ　よしなり）（総領小6年）
早川　稜真（はやかわ　りょうま）（総領小6年）
陰地　梨音（かげち　りおん）（総領小6年）

第13回新県美展
入賞
絵画（アクリル）　優秀賞
峯末由紀子（みねずえ　ゆきこ）（東城町）
書（仮名）　奨励賞
荒木紀美枝（あらき　きみえ）（西本町）
入選
絵画（油彩画）
小川　進（おがわ　すすむ）（濁川町）
絵画（水彩画）
三浦　満（みうら　みつる）（川手町）
絵画（アクリル）
瀬尾　恵子（せお　けいこ）（東城町）
絵画（アクリル）
瀧口美樹子（たきぐち　みきこ）（東城町）
工芸
高橋　政夫（たかはし　まさお）（東城町）
書（仮名）
黒田　勝美（くろだ　かつみ）（東本町）

市税・保険料の納期限のお知らせ

■市県民税（普徴）2期
■国民健康保険税（普徴）2期
■介護保険料（普徴）3期
■後期高齢者医療保険料（普徴）2期

納期限 9月1日(月)

「口座振替」にしている人は、納期限の前日までに残高確認をお願いします。
収納課収納係☎ 0824-73-1511

広告
スエムネグループ創業62周年の安心と信頼。販売店だからできる高額買取!!
私がお伺いします
担当 末宗 良規
不要になったものなんでも
出張買取いたします！
お金になるか確認だけでもしてもらいたい。
金や宝石をどこよりも高く買取ってもらいたい。
心の絆、愛心の証 遺品整理士
物と心をすっきり身軽に、思い出整理をお手伝い 生前整理アドバイザー
高額買取・何でも不用品回収 美幸-ビコウ- 〒729-6205 広島県三次市塩町2123-5
☎ 0120-66-1035

国営備北丘陵公園だより

備北夏まつり
8月31日(日)まで開催中！

備北コスモスピクニック
9月13日(土)～10月19日(日)開催！

備北公園管理センター　☎ 0824-72-7000
（https://www.bihokupark.jp/）

テレビ新広島開局50周年＆国営備北丘陵公園開園30周年 光と音のほしぞらシンフォニー in 国営備北丘陵公園

忙しい毎日やスマホに夢中になって、気付けば下ばかり見ている。そんな時代だからこそ、大切にしたい「空を見上げる時間」。

このイベントでは、夜空をキャンバスに、色とりどりのドローンが光のアートを描き、心に響く音楽が流れ、そして大輪の花火が星空に花を咲かせます！

とき
9月13日(土)
15時30分～20時（開場は15時）
ところ
大芝生広場
公演内容
■星の達人に学ぶ！夏のほしぞら
■広島交響楽団若手演奏者による音楽祭
■ドローンショー
■花火
■TSSアナウンサーの朗読会
■菊池亮太Live（ライブ）

博物館出張展示「比和自然科学博物館から化石たちがやってきた！」

比和自然科学博物館に所蔵している「世界の化石・鉱物・岩石」「庄原市で産出された備北地層群の化石」の一部を展示します。

とき
8月31日(日)まで
9時30時～18時
ところ
ひばの里　さとやま展示館

やまのおみやげや 木工教室

ストラップやペンダントなど木の小物づくりを親子で楽しめます。

とき
8月31日(日)まで
※土・日・祝日のみ
9時30時～17時
（受け付けは16時まで）
ところ　ひばの里　木の工房
料金　500円から／作品
定員　30人／日

料金・申し込み
料金は有料です。
詳しくはこちらのイベントサイトをご覧ください
※荒天時は中止となります。

秋の花暦

▼コスモス
【開花時期】
9月下旬～10月中旬
【ところ】
花の広場
▼ケイトウ
【開花時期】
8月下旬～10月中旬
【ところ】
花の広場、大芝生広場北斜面
▼ジニア
【開花時期】
9月中旬～10月中旬
【ところ】
花の広場、大芝生広場北斜面

※記載の内容は7月末現在のものです。天候などの理由により変更または中止となる場合があります。事前に、ホームページなどでご確認ください。

広告
相続空き家問題 成年後見等でお困りの方、あなたの世代で解決しませんか?
業務のご案内
●不動産の名義変更　●成年後見
●相続登記・遺言　●会社の登記
●借金の整理　●簡易裁判所訴訟代理等
●詳しくはホームページに記載しています。
庄原　司法書士　検索
司法書士 飯田 一生（広島司法書士会所属）
司法書士法人
広島北部司法事務所
（簡易裁判所訴訟代理認定番号524014号）（司法書士登録番号828号）
平成29年4月1日より庄原市役所前に事務所移転しました。
住所 〒727-0012 広島県庄原市中本町一丁目8番16号 TEL0824-72-2315（要予約）

広告 住まいの事なら何でもご相談下さい。
ナガオカ 長岡商事株式会社
災害時に一番早く復旧するプロパンガス。
『安心と笑顔が増えるお手伝いをする。』
ガス供給と共に、より良い生活環境の場をご提案致します。
0120-184-268
広島県庄原市是松町 5020 番地 40　TEL0824-72-0561

人の動き（庄原市の人口）

令和7年6月末現在

[住民基本台帳登載人口]
人口　３０,６７４人（前年比－８７４人）
男　　１４,７０８人（前年比－４０４人）
女　　１５,９６６人（前年比－４７０人）
世帯数　１４,６６７世帯（前年比－２６７世帯）
[うち外国人] 人口　５７３人（前年比１４人）
[各地域の内訳]
○庄原地域　１６,３２９人（7,７８１世帯）
○西城地域　　２,７９１人（1,２８８世帯）
○東城地域　　６,３８０人（3,２０３世帯）
○口和地域　　１,６５６人　（７４３世帯）
○高野地域　　１,４０５人　（６１４世帯）
○比和地域　　１,０６４人　（５１４世帯）
○総領地域　　１,０４９人　（５２４世帯）

休日診療のご案内

８月・９月の休日診療については、次のとおりです。
●庄原市休日診療センター
診療日：日曜・祝日・年末年始（12/30～1/3）
問診療日　　☎0824-72-9900
診療日以外　☎0824-73-1155（保健医療課）
●東城地域

８月24日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
31日（日）	日伝病院	☎08477-2-2180
９月７日（日）	東城病院	☎08477-2-2150
14日（日）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900
15日（月）	庄原市休日診療センター	☎0824-72-9900

献血のご案内

問保健医療課 ☎ 0824-73-1155

献血を次のとおり実施します。
400ml 献血限定ですので、皆さんのご協力をお願いします。

実施日	会　場	受付時間
９月５日㈮	市役所東城支所	10時～11時15分 12時30分～15時
９月19日㈮	市役所本庁舎	10時～11時15分 12時30分～15時

市税・水道料金・下水道使用料 納付は口座振替が便利です

手続きは各金融機関の窓口でお願いします。
残高確認も忘れないでください。
●収納課　　☎０８２４－７３－１５１１
●下水道課管理係　☎０８２４－７３－１１７５
●広島県水道広域連合企業団庄原事務所業務係
☎０８２４－７３－１１９７

広報日記

▶今月の表紙、いかがでしたでしょうか。ウェーダーを履いて、西城川に浸かりながらの撮影でした。機会があればぜひ、西城川の鮎をご賞味あれ！㊋
▶お知らせのページでは、市内の夏祭りについて掲載しています。暑さに負けずぜひ楽しみましょう。㊍

食育コーナー

問児童福祉課 ☎ 0824-73-1192

みんなで育てた野菜はおいしいよ！
～峰田保育所の取り組み～

峰田保育所では、「食べることを楽しみ　心も身体も大きく成長する」をテーマとし、食育活動に取り組んでいます。
特に、保育所の畑での野菜づくりに力を入れています。
本年は、子どもたちが相談して決めたナス、キュウリ、カボチャ、ピーマン、ミニトマトなど、数種類の夏野菜の苗を植えました。毎日の水やり当番をしながら「紫の花が咲いたね」「きゅうりの赤ちゃんだ」と野菜が成長するのを観察し、収穫を楽しんでいます。
自分たちで育てた野菜は、給食で調理してもらったり、クッキングで使用したりして「保育所の野菜はおいしいよ」と言いながら、みんなでおいしく食べます。
また、本年度も地域の農家（里山塾）から声を掛けていただき、５月にサツマイモの植え付け、７月にジャガイモ堀りを体験しました。今後は、10月にサツマイモ堀り、３月にジャガイモの植え付けを体験する予定です。毎年、地域の皆さんとの交流を通して、とても貴重な農体験をさせていただいています。
子どもたちは野菜づくりを通して、野菜を作る人への感謝や「いのち」を育む自然への感謝、自分たちで育てることの大変さ、収穫することの楽しさを感じ、食の大切さを学んでいます。

▲「ほら！面白い形のキュウリができたよ」と野菜の収穫を楽しむ子どもたち

▲「おいしい、おいしいサツマイモになーれ！」とおまじないをしながら植え付けを体験する子どもたち

時悠館

☎ 08477-6-0161
開館：9時～17時、休館：水曜（祝日開館・翌日休館）・年末年始

中学生による博物館での展示活動

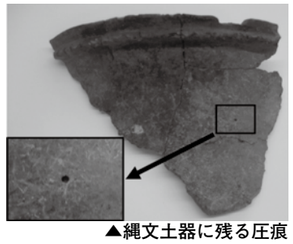
本年は６月16日から20日の５日間、東城中学校２年生の生徒２人が当館で職場体験を行い、博物館の仕事や学芸員の仕事を学びました。
初日は館内を見学して取り組んでみたいテーマを探し、２日目はテーマの絞り込みと遺跡見学を行って調査研究を開始しました。３日目は当館が休館日のため、学校で自主研究を行い、４日目は30人の来館者（島根県立古代出雲歴史博物館ボランティアガイド一行）に対して自分たちのテーマで研究している展示場所での解説を行いました。来館者は日ごろ博物館で解説をしている人たちでしたが、中学生２人の堂々とした説明に感心していました。最終日には、展示資料・クイズの作成や、説明パネルの作成、展示を行いました。

それぞれが取り組んだテーマは、「帝釈峡遺跡群出土のオオヤマネコの実物復元図」と「寄倉岩陰遺跡（よせくらいわかげいせき）の縄文土器に残る圧痕のクイズ作成」です。

▲オオヤマネコの実物復元図

単なる解説にとどまらず、独自の見解を交えたりクイズにしたりと、魅力的な展示となっています。

ここで取り組みテーマからクイズを１つ紹介します。
右の写真の小さな穴のような跡は、何でしょう。
１：コメ
２：キビ
３：ムギ
※ヒント　「とても小さい」「とても丸い」「ダンゴが有名」


▲縄文土器に残る圧痕

館内では、電子顕微鏡写真とともに日本最古の圧痕のある縄文土器の実物を展示しています。
クイズの答え合わせや子どもたちの研究成果をご覧いただくため、歴史的新発見の続く時悠館にぜひお越しください。

しょうばら九日市

毎月９日は、しょうばら九日市

９月

★出店者募集中！あなたのお店を開こう。
★毎月20日が出店申込締め切りです。
★申し込みは楽笑座
と　き　９月９日（火）９時～13時
ところ　中本町・まちなか広場周辺（のぼりが目印）
※今回は楽笑座で庄原特別支援学校高等部の生徒が、作業学習で作った製品などを販売します。ぜひお越しください。
詳しくはＨＰで　http://kunchi-ichi.jp/information.html

市民ギャラリー「アート多愛夢」情報BOX（西本町二丁目１番21号）

市街地の空き店舗を活用した、各種展示ができる市民ギャラリーです。

▶レザー作品展
とき　９月８日㈪～10日㈬　10時～15時
問アート多愛夢事務局　☎0824-72-6405（友永）
※展示を希望する団体（または個人）はお申し込みください。使用料は要りません。

食彩館しょうばら ゆめさくら

☎ 0824-75-4411

８・９月のイベント情報

▶ゆめさくら講座
○草木染め教室（ロウケツ）
とき　８月25日㈪　①９時～12時　②13時～16時
▶展示・イベント・販売
○シルバー人材センター（てしごとの会）
とき　９月20日㈯・21日㈰　９時～15時

ロビーコンサート

問生涯学習課 ☎ 0824-73-1189

とき　８月25日㈪12時15分～12時55分
ところ　市役所本庁舎　１階市民ホール
出演者
La Banda de gran Rio（ラ・バンダ・デ・グラン・リオ）マンドリンカルテット
佐古季暢子（さこきちょうこ）：マンドリン / マンドラ・テノール
高橋（たかはし）　香瑠（かをる）：マンドリン / マンドロンチェロ
山口（やまぐち）　旭（あさひ）：マンドリン
亀島（かめしま）　紗良（さら）：マンドリン
演奏曲目
アルデバラン、糸、レールロード・ソング　ほか
▶ La Banda de gran Rio マンドリンカルテット
平成28年結成。グループ名は「大きな河のアンサンブル」という意味。雨粒一滴が集まって大きな河となるように、奏者一人一人から皆さんへ「マンドリン音楽っていいな」と伝わるようにとの想いを込めている。当日は、耳馴染みのある楽曲を中心に、マンドリンのさまざまな音色をお届けする。
▶佐古季暢子
広島市出身、グループ主宰。日本マンドリン連盟中四国支部支部長。エリザベト音楽大学マンドリン科講師のほか、海外や各学校でコーチを勤めている。
▶高橋　香瑠
広島市出身、グループ代表。平成26年第24回日本マンドリン独奏コンクール第１位。
▶山口　旭
静岡県浜松市出身、広島大学教育学部在学中。第41回九州支部マンドリン独奏コンクール第１位。
▶亀島　紗良
広島市出身、エリザベト音楽大学音楽学部在学中。第41回九州支部マンドリン独奏コンクール第１位。

※掲載の内容は、天候などの影響により中止・延期・変更となる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

広報しょうばら 8月号 2025/August No.245

地域推進課

庄原で見つけ、広げよう！あなたの可能性

庄原さとやま留学「お試し留学（2泊3日）」

7月4日～6日に、比和地域で本年度1回目となる庄原さとやま留学（お試し留学）を実施し、県内外から9人の若者が参加しました。

初日は、比和自然科学博物館や棚田テラスを見学した後、地域の人も交えた交流会を行い、2日目は、猛暑の中、白根りんご農園でりんごの摘果作業を行いました。

参加者は、りんごを一つ一つ手作業で摘み取り、農業の大変さ、やりがいを肌で感じていました。

最終日は、そば打ち体験を行った後、意見交換会を実施し、参加者一人一人が、留学を通じて感じた本市の魅力や、地域を盛り上げるためのアイデア発表を行いました。

参加者は「比和町は、地域の人たちが温かく、本当に素敵な地域でした。必ずまた来ます」と話しました。

第2・3回のお試し留学は、9月に西城地域と東城地域で行う予定です。

初めての摘果作業

そば打ちの説明を受ける参加者

企画課

官民連携で挑む、新たな地域活性化プロジェクト始動！

庄原市二地域居住・キックオフ会議

7月10日、広島みどり信用金庫本店で「教育×二地域居住による関係人口の獲得を通じた、山間部の課題解決試行モデル推進プロジェクトチーム」のキックオフ会議を開催しました。

本市は、地域の関係機関と連携し、二地域居住を推進することで、地域の魅力を発信し、新たな人材の流入につなげていくことを目指しています。

今回のキックオフ会議を皮切りに、関係機関が連携し、それぞれの強みを生かして二地域居住を推進していくためのプロジェクトをスタートさせます。

今後は、空き物件の改修意向調査、二地域居住を検討する人と地元企業とのマッチング、学童サービスや交通といった課題の洗い出しと解決策の検討などについて取り組む予定です。

キックオフ会議であいさつする八谷市長

令和7年8月5日発行
編集・発行 庄原市行政管理課

〒727-8501 広島県庄原市中本町一丁目10番1号
☎0824-73-1159・FAX0824-72-3322／【法人番号】2000020342106
ホームページ https://www.city.shobara.hiroshima.jp／印刷 ㈱リークラウド